

令和 7 年度事業報告

令和 7 年度の事業は、事業計画に基づき、次のとおり実施しました（下線部は本年度の特記事項です。）。

1. 積極的な各種活動と情報の発信、組織運営の透明化

「積極的な各種活動と情報発信」および「組織運営の透明化」を基本方針として、組織の活性化と信頼回復に向け、以下の施策を実施しました。

- （１）2026 年の「JARL 創立 100 周年」および 2027 年の「日本におけるアマチュア無線 100 周年」に向け、周年事業の企画・準備を進め、記念ロゴおよび記念メッセージの制定、記念サイトの開設を行いました。また、100 周年記念「ニューカム&HAMtて ウェルカム QSO パーティ」（JARL と JARD との共催）、100 周年記念「アクティビティコンテスト」、100 周年記念アワードを企画し、詳細を公表しました。
- （２）令和 7 年 4 月から 10 月に開催された「2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」を記念して記念局「8K3EXPO」および「JA3XPO」を開設し、アマチュア無線を通じて、国内外への情報発信を行いました。8 月 1 日には、国際宇宙ステーション(ISS)に滞在する日本人宇宙飛行士・大西卓哉船長と、公募により万博会場に集まった子どもたちが、アマチュア無線特別記念局「8K3EXPO」のコールサインを使って直接交信する「ARISS スクールコンタクト」が開催され、子どもたち 18 名全員が大西宇宙飛行士との交信に成功しました。また、南極・昭和基地の南極地域観測隊運用の「8J1RL」との交信も行われました。来場者による体験運用を柱に据えた同記念局の運用は各種マスコミに大きく取り上げられ、アマチュア無線の PR と理解増進に大きく貢献しました。
- （３）令和 9 年 3 月 19 日に横浜・上瀬谷で開幕する「2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）」における記念局出展に向け、実行委員会を構成し準備を進めております。
- （４）役員（理事・監事）と社員、支部長とのメーリングリストを活用し、情報共有および意見交換を行いました。
- （５）老朽化した QSL ビューローの委託業者を変更しました。委託先による業務の改善を引き続き進めて参ります。
- （６）連盟の業務執行の情報公開を進めました（社員総会における事前質問への回答の事前公表、理事会報告に各理事の詳細な意見と賛否を明記、委員会報告の公表等）。



2. アマチュア無線活動の推進

アマチュア無線活動の推進に向け、制度改善への対応および周知を行うとともに、以下の事業を実施しました。

(1) アマチュア無線に関する制度改善と周知

- ① 令和5年の電波法施行規則等の改正に伴い、体験機会の拡大や手続の簡素化等に関する内容について、JARL NEWS、Web、メールマガジン等による周知を行うとともに、ハムフェア等のイベントの機会を活用し、来場者からの質問に対応するなど、制度内容や手続に関する案内を行いました。
- ② 令和7年7月17日の総務省告示改正に伴い、JARL アマチュアバンドプランの一部改正を行い、その周知を実施しました。
- ③ 体験運用の推進および青少年の科学技術への関心喚起に向け、ハムフェアや各地のイベントに加え、CQ 出版社主催の「体験運用の日」やボーイスカウトの公式国際行事「JOTA-JOTI」等の機会を活用し、「体験運用推進・ニューカマー支援委員会」のマニュアルやサポートのもと、体験運用の実施支援を行いました。
- ④ ITU-R の WP5A 会合（令和7年5月12日～22日および11月19日～28日、ジュネーブ、対面・リモート併用）に、政府代表団の一員として職員1名が参加し、アマチュア無線関連議題の検討に関与しました。
- ⑤ アジア・太平洋電気通信共同体（APT）による世界無線通信会議（WRC-27）に向けた準備会合（APT WRC 準備会合）（令和7年7月28日～8月1日、パタヤ）に、政府代表団の一員として職員1名がリモート参加し、検討に関与しました。
- ⑥ 免許手続の簡素化および国際的なアマチュア無線制度との整合について、総務省との間で意見交換を行いました。

(2) アマチュア無線活動の活性化

- ① アマチュア無線の周知・普及を目的として、各地で講習会および研究会を開催しました。また、ハムフェア、地方広域ハムフェア、支部大会・ハムの集い等の各種催事において、アマチュア無線の紹介や体験機会の提供を行いました。
- ② ハムフェア2025は、令和7年8月23日・24日の2日間、有明GYM-EXにおいて開催し、延べ42,000名の来場がありました。本年度は、QRコード入場券の導入により入場の円滑化を図り、委託先の変更、経費の見直し等によりハムフェア事業単独での黒字を達成しました。会場では、展示・販売、特別記念局8J1HAMの運用、各種講演や表彰式等を実施したほか、体験運用コーナーおよびビギナー案内コーナーを設置し、初心者・青少年を中心に体験機会の提供および相談対応を行いました。体験運用者数は2日間で45名（うち8J1HAMでの体験運用5名）となりました。



- ③ コンテストは、**別表 2** のとおり 6 種類実施し、入賞局に対して電子賞状を発行しました。また、コンテスト・アワードの発行およびコンテスト参加記念楯制度の運用を行うとともに、コンテスト参加証のダウンロードサービスを提供しました。QSO パーティでは、電子台紙および電子ステッカーの作成機能を導入し、電子ログ提出による電子化ステッカーの発行を開始しました。これにより紙ログ提出は減少した一方で、参加局数は前年と同程度となりました。
 - ④ アワード発行は、**別表 3** のとおりであり、国内アマチュア局 545 枚、SWL4 枚、海外アマチュア局 66 枚の合計 615 枚を発行しました。D-STAR アワードは全賞あわせて 13 枚、JARL アワードマスターは 4 件の認定証を発行しました。また、WAC アワードの代行申請を 41 件実施し、DXCC フィールドチェックについては、ハムフェア会場での受付を含め 388 件の申請を受け付けました。
「JARL 全日本 10,000 局」アワードは全賞あわせて 6 枚、「JARL 全世界 10,000 局」アワードは 18 枚を発行しました。あわせて、ハムフェア 2025 会場において、令和 6 年度に本アワードを受賞した 13 名に対する総務大臣賞の授与式を実施しました。
 - ⑤ レピータ局およびビーコン局は、**別表 4** のとおり開設・運用しました。
 - ⑥ D-STAR レピータについては、ゲートウェイを介した接続を継続するとともに、利用状況の把握および運用に関する課題の整理を行いました。
 - ⑦ D-STAR ユーザー局については、管理サーバーへの登録および IP アドレスの付与等、ネットワーク運用に必要な管理業務を実施し、安定的な利用環境の維持を図りました。
 - ⑧ 特別局・特別記念局は、**別表 5** のとおり開設・運用しました。
 - ⑨ 全日本 ARDF 競技大会は、令和 7 年 10 月 18 日・19 日に福井県丹生郡越前町で開催し、154 名が参加しました。また、地方 ARDF 競技大会については、別表 6 のとおり開催しました。
 - ⑩ ARISS (国際宇宙ステーション上のアマチュア無線) プロジェクトについては、関係団体と連携し、支援を行いました。
 - ⑪ CQ 出版が主催した「体験運用の日」を後援しました。また、ボーイスカウト日本連盟が実施した国際行事「JOTA-JOTI」において、体験運用を通じた次世代育成支援に協力しました。
- (3) アマチュア衛星など宇宙通信の促進
- ① 「ふじ 3 号 (F0-29)」については、平成 8 年 8 月 17 日の打上げ以来、長期にわたり運用が継続されています。経年変化に伴い運用が不安定となる状況も見られますが、安定運用に向けた試験等を継続しています。
 - ② 大学や団体が計画する小型アマチュア衛星の開発および運用に関し、国際アマチュア無線連合による周波数調整の支援等、必要な協力を行いました。

3. 電波環境のクリーン化と混信妨害の防止

近年、多様な電波利用の進展により周波数需要が高まる中、アマチュア無線への混信防止に向けた対応を行っています。

(1) 電波利用の秩序維持

- ① 侵入電波の排除および違法・不法局の取締りなど、電波環境のクリーン化に関する課題について、関係機関に対する要望を行うとともに、アマチュア局から

寄せられる電波障害に関する相談への対応を行いました。

- ② アマチュア局の適正な運用に向けた指導および電波障害防止対策に関する助言・対応を行いました。
- ③ アマチュア局に起因する電波障害に関して、一般の方からの相談に対応しました。
- ④ アマチュア局が受けるノイズ障害については、近年その要因が多様化しており、情報収集を行いました。特に、インバータを使用する給湯器や太陽光発電システム、照明機器等に起因するノイズに関する相談が増加しています。これらの状況を踏まえ、関連機関と連携し、ノイズ障害の対策および防止に向けた対応を進めました。
- ⑤ ガイダンス局（特別業務の局）については、設備の一部更新および送信メッセージの見直しを行い、レピータや衛星周波数を含む使用区別の逸脱、コールサインの未送出、業務通信の実施などの不適切な運用に対し、電波による注意喚起を行いました。また、各地方の総合通信局と連携し、関東 7 回、東海 4 回、関西 1 回、四国 1 回、北陸 1 回の注意喚起活動を実施しました。
- ⑥ バンドプランの周知用印刷物を配布するとともに、違法・不法局撲滅のための広報活動を行いました。

（２）電波環境のクリーン化

- ① 160m バンドおよび HF ローバンドの侵入電波については、会員からの情報提供の協力を得て、総務省、IARU などの関係機関に報告しその対応を要請しました。
- ② HF 帯のアマチュアバンドに侵入する海外の局からの侵入電波の排除をはじめ、V/UHF 帯のアマチュアバンドに出没する違法・不法局の取締り強化について、総務省へ要請しました。
- ③ JARL Web において、各総合通信局による不法無線局の取締り状況を掲載し、電波利用環境に関する情報の共有を行いました。

（３）電波環境に関する対応

電波利用環境に関する課題について、関係会合への出席を通じて情報収集を行い、その内容を踏まえ対応の検討を行いました。

4. 会員事業の推進

会員組織である当連盟の組織基盤強化のために、次のとおり会員事業を推進しました。

（１）会員へのサービス事業の推進

- ① アンテナ第三者賠償責任保険は、7,482 件の加入があり、会員向けサービスとして一定の利用がありました。また、雷事故補償保険、傷害補償保険に加え、Web 完結ガン保険の加入受付を行うとともに、ホテル宿泊、パッケージ旅行、引越料金サービス、通信講座受講料や書籍の割引制度などの会員特典の提供を行いました。
- ② 会員への情報提供のため、JARL Web のコンテンツ更新を継続的に行い、情報発信の充実に努めました。
- ③ メール転送サービス利用者数は 29,452 件となり、前年と比較して 659 件減となりました。メール転送サービスの利用規約を見直し、ご利用方法を明確にしま

した。引き続き会員サービスとして一定の利用がある一方、近年のメール環境の変化を踏まえ、サービスの位置付けについて検討が必要な状況です。

- ④ 会員在籍表彰として、長年継続して在籍された会員の方々を対象に表彰を実施しました。本表彰は、会員の継続的な活動への謝意を示すとともに、会員定着の促進を目的としています。また、表彰状についてはマイページからダウンロードできる仕組みとし、迅速な提供および事務効率化を図りました。

(2) QSL・SWLカードの転送

- ① カードの取扱処理枚数は**別表7**のとおりであり、国内外合わせて月平均約60万枚の転送業務を行っています。当年度末においては、2月に約7.6万枚、3月に約13万枚の処理実績となっており、処理体制の移行過程にあることから、月間処理量に変動が見られます。令和8年2月にはQSLビューローの委託先業者の変更を行っており、当該移行に伴う影響も踏まえつつ、処理体制の安定化および転送の円滑化に向けた改善を進めています。

- ② QSLビューローの老朽化を受けて、QSLビューローの委託先を行いました（令和8年2月）。あわせて、委託先に支払う委託料を、処理枚数に応じた従量制に変更し、QSL費の適切なコントロールを可能としました。

転送作業の遅延および一部処理上の不備が発生し、会員の皆様にご迷惑をおかけしております。本件は、移行準備期間の制約の中で新委託先への業務引継ぎが十分に行き届かなかったこと、および新委託先における業務習熟に一定の期間を要したことが主な要因です。

これに対し、代表理事、事務局長および担当部門（会員部）を中心として、委託先との間で作業手順の見直し、進捗管理の強化および品質管理体制の整備を進めております。

現在は、委託先における業務習熟の進展とあわせて、処理体制の安定化に向けた改善を継続しており、引き続き転送遅延の解消および再発防止に取り組んでまいります。あわせて、QSLビューローからの転送カードについては、発送状況の透明性向上のため、発送完了日をJARL Web上で公表しました。

会員の皆様には多大なるご不便をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

- ③ コロナ禍やFT4・FT8等の普及に伴い、QSLカードの発行枚数が増加し、ビューローにおける処理能力との乖離によりカードの滞留が発生しました。この状況に対応するため、会員の皆様に対し発行枚数の見直しへのご協力をお願いするとともに、到着枚数の抑制が図られております。
- ④ カードの発送は、郵便および宅配便を利用して行い、発送方法の見直しにより転送経費の抑制を図りました。

(3) 広報活動

会員および一般の方に向けて、JARL Webや電子版JARL NEWS、メールマガジンなどインターネットを活用した情報発信とともに、JARL NEWSやCQ ham radio誌、パンフレットなどの紙媒体を通じて広報活動を行いました。

- ① JARL NEWSを年4回季刊発行し、連盟からのお知らせ、地方本部・支部およびクラブの活動情報等を掲載しました。また、電子版JARL NEWSを制作し、JARL Webの会員専用ページにおいて提供しました。
- ② CQ出版社の協力により、月刊誌「CQ ham radio」の巻末16ページに「FROM JARL」

を掲載し、最新情報や地方本部・支部の活動情報を提供しました。

- ③ JARL Web およびメールマガジンを通じて情報提供を行いました。メールマガジンは月 2 回配信し、配信数は令和 8 年 3 月現在 32,064 件となっています。また、「会員手帳」については PDF 化し、会員専用ページにおいて閲覧サービスを提供しました。
- ④ アマチュア無線の普及を目的として、パンフレット「アマチュア無線ってどんなもの？」を作成し、各種イベントで配布するとともに、JARL Web からのダウンロードサービスを提供しました。
- ⑤ アマチュア無線の初心者や新規資格取得者に向けて、パンフレット等を各地のイベントで配布しました。

(4) 関連団体との連携

- ① 当連盟は、一般財団法人日本アマチュア無線振興協会 (JARL)、日本アマチュア無線機器工業会 (JAIA)、CQ 出版株式会社との 4 者による「アマチュア無線継続的発展会議 (SD 会議)」において、アマチュア無線の継続的発展に向けた取組や協力体制について意見交換を行いました。
- ② アマチュア無線家の育成および適正な運用の周知について、JARL と連携して周知に取り組みました。
- ③ JARL、JAIA の協力を得て、ビギナー向け小冊子「スタート！ハムライフ」等を配布しました。

5. 非常災害時への態勢整備

災害時に備え、次の対応を行いました。

- ① 非常災害の発生に備え、可搬型発電機の保管および事務局内の防災用品の整備を行いました。
- ② 「非常通信に関する基本方針ならびに非常通信実施要領」に基づき、地方自治体と JARL 支部との災害協定の締結に向けた対応を行うとともに、「アマチュア局の非常通信マニュアル」の周知を行いました。

6. 青少年へのアマチュア無線活動の支援と身体障がい者への援助・協力

(1) 青少年のアマチュア無線活動への周知・支援

青少年へのアマチュア無線活動の周知・支援として、各地方本部・支部および関連団体と連携し、ボーイスカウト・ガールスカウトとの取組や社団局の会費助成を実施しました。

- ① ARISS スクールコンタクトについて、昨年に引き続き協力し、国際宇宙ステーション内の宇宙飛行士との交信を通じた体験機会の提供を行いました（令和 7 年度 4 件）。
- ② 次世代の育成を目的として、22 歳未満の会員への助成を実施し、新規入会者 113 名の申請を受け付けました。
- ③ 社団局を開設する学校やボーイスカウト・ガールスカウト等の団体に対する助成制度により、73 団体を対象としました。
- ④ こどもの日にあわせ、南極昭和基地の JARL 南極局 8J1RL で、小・中・高校生を優先とした交信を実施しました。



- ⑤ IARU Region 1 の YOTA Summer Camp (2025 年 8 月 18 日～25 日、フランス・ジャンビル) に、JARL の公募により選出した大学生 2 名を派遣しました。帰国後には、JARL Web および JARL NEWS に体験レポートを掲載しました。

(2) 身体障がい者に対する援助・協力

視覚障がいのある方に向けて「点字 JARL NEWS」を発行し、情報提供を行いました。

7. 国際協力の推進

- ① ハムフェア 2025 には、韓国 KARL、マレーシア MARTS および Amateur Radio Digital Communications (ARDC) が出展し、IARU 各地域 (Region 1、Region 2、Region 3) の関係者の参加もありました。
- ② JARL 事務局内に IARU 第 3 地域事務局を引き続き設置し、その運営を支援しました。
- ③ IARU 第 3 地域 (Region 3) に対し、発展途上国のアマチュア無線活動を支援する STARS (Support of The Amateur Radio Service) タスクフォースへの支援および侵入電波の監視報告を行いました。
- ④ IARU の国際ビーコン・プロジェクトに参加し、国内ビーコン局の運用を行いました。
- ⑤ IARU HF チャンピオンシップコンテストにおいて、連盟本部局 (HQ 局) を公募し、5 局が参加しました。
- ⑥ アメリカ・デイトンハムベンションおよびドイツ・HAM RADIO に JARL ブースを出展し、活動の紹介を行いました。
- ⑦ 相互運用対象国のアマチュア (来日者・在住者) に対し、日本の免許取得に関する手続支援を行いました。
- ⑧ IARU ARDF 世界選手権大会 (リトアニア・ビルシュトナス) に、日本から 28 名が参加しました。

8. 会員拡充への取り組み

会員数は、**別表 1** のとおり、令和 8 年 3 月 7 日現在で 61,372 名となり、前年同月比で 1,662 名の減少となりました。なお、会員区分の内訳は、正員 46,926 名、社団会員 1,215 名、家族会員 910 名、准員 12,321 名です。

また、旧会費前納者を対象としたライフメンバー制度の利用状況は、令和 8 年 3 月 7 日現在で、ライフメンバー会費 (JARL NEWS および QSL 転送) 1,986 名、QSL 転送 3,077 名となっています。

さらに、賛助会員については、174 名の加入 (継続を含む) がありました。

上記のほか、次の施策を実施しました。

- ① 22 歳未満を対象としたお試し入会キャンペーンを継続しました。
- ② QSL ビューローにおいて一定数以上のカードを受領している未入会者に対し、入会案内を送付しました。
- ③ JARD、JAIA 等と連携し、パンフレットの配布等を通じて入会促進を行いました。

上記のほか、次の活動を実施しました。

- ① 理事会、各種委員会および地方本部・支部行事を、**別表 8**のとおり開催しました。
- ② 会員局名録を発刊しました。
- ③ 資格別門標板およびアマチュア無線関連グッズを頒布しました。

以 上

エ リ ア 別 会 員 数

(令和8年3月7日現在)

会員	関東	東海	関西	中国	四国	九州	東北	北海道	北陸	信越	合 計
正 員	17,756	5,892	6,218	2,767	1,520	3,618	3,515	2,262	1,145	2,233	46,926
社団会員	437	149	151	82	43	76	103	67	58	49	1,215
家族会員	322	118	105	48	43	78	72	62	16	46	910
准 員	4,252	1,618	1,694	947	371	874	1,003	521	403	638	12,321
合 計	22,767	7,777	8,168	3,844	1,977	4,646	4,693	2,912	1,622	2,966	61,372
令和7年3月比 増 減	-658	-164	-159	-94	-54	-132	-182	-94	-50	-75	-1,662

正 員 エ リ ア 別 増 減

(令和8年3月7日現在)

会員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合 計
令和7年3月	18,832	6,186	6,565	2,939	1,612	3,820	3,760	2,417	1,217	2,352	49,700
令和8年3月	17,756	5,892	6,218	2,767	1,520	3,618	3,515	2,262	1,145	2,233	46,926
増 減	-1,076	-294	-347	-172	-92	-202	-245	-155	-72	-119	-2,774

社 団 会 員 エ リ ア 別 増 減

(令和8年3月7日現在)

会員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合 計
令和7年3月	459	153	150	83	45	85	109	66	65	51	1,266
令和8年3月	437	149	151	82	43	76	103	67	58	49	1,215
増 減	-22	-4	1	-1	-2	-9	-6	1	-7	-2	-51

家 族 会 員 エ リ ア 別 増 減

(令和8年3月7日現在)

会員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合 計
令和7年3月	342	131	102	54	43	79	82	63	17	51	964
令和8年3月	322	118	105	48	43	78	72	62	16	46	910
増 減	-20	-13	3	-6	0	-1	-10	-1	-1	-5	-54

准 員 エ リ ア 別 増 減

(令和8年3月7日現在)

会員	1	2	3	4	5	6	7	8	9	φ	合 計
令和7年3月	3,792	1,471	1,510	862	331	794	924	460	373	587	11,104
令和8年3月	4,252	1,618	1,694	947	371	874	1,003	521	403	638	12,321
増 減	460	147	184	85	40	80	79	61	30	51	1,217

コンテスト実施状況

(令和7年4月～令和8年3月)

部門種目など	シングルオペ							マルチオペ			書類提出 局合計	賞状数
コンテスト名	オール バンド	シングル バンド	ニュー カマー	シル バー	QRP	D-STAR	SWL	オール バンド	2 波	ジュニア		
ALL JA コンテスト	606	945	3	195	－	－	13	73	17	17	1,869 (1,807)	381
6 m&Down コンテスト	519	797	13	185	149	13	14	87	－	5	1,782 (1,783)	283
フィールド デー コンテスト	427	776	5	153	130	－	10	60	17	10	1,588 (1,478)	311
ALL ASIAN DX コンテスト	電信部門 (国内) 584 (外国) 1,221										1,805 (1,764)	577
	電話部門 (国内) 493 (外国) 806										1,299 (1,418)	505
全市全郡 コンテスト	599	858	14	200	－	－	9	67	14	7	1,768 (1,688)	395
QSO パーティ	交信部門 8,328 受信部門 304										8,632 (8,644)	8,597
合 計											18,743 (18,582)	11,049

()内は令和6年度の数字を表します。

別表 3

アワード等の発行状況

1. アワード発行数

(令和7年4月～令和8年3月)

			アマチュア局	S W L	海 外 局	合 計
A	J	D	59	1	15	75
W	A	J A	53		21	74
H	A	J A		0	0	0
J	C C	1 0 0	21	0	5	26
		2 0 0	17	0	1	18
		3 0 0	15	0	2	17
		4 0 0	17	0	2	19
		5 0 0	24	0	2	26
		6 0 0	20	0	4	24
		7 0 0	18	0	1	19
	8 0 0	12	0	0	12	
小 計		144	0	17	161	
J	C G	1 0 0	20	0	4	24
		2 0 0	13	0	2	15
		3 0 0	12	0	0	12
		4 0 0	8	0	0	8
		5 0 0	4	0	0	4
小 計		57	0	6	63	
A	J	A	5	0	0	5
1 0 MHz z	1 0 0	3	0	0	3	
	2 0 0	1	0	0	1	
	3 0 0	1	0	0	1	
	4 0 0	0	0	0	0	
	5 0 0	0	0	0	0	
	6 0 0	0	0	0	0	
	7 0 0	0	0	0	0	
	8 0 0	0	0	0	0	
	9 0 0	0	0	1	1	
	1 0 0 0	0	0	1	1	
小 計		5	0	2	7	
1 8 MHz z	1 0 0	5	0	0	5	
	2 0 0	4	0	0	4	
	3 0 0	1	0	0	1	
	4 0 0	1	0	0	1	
	5 0 0	1	0	0	1	
	6 0 0	0	0	0	0	
	7 0 0	0	0	0	0	
	8 0 0	0	0	0	0	
	9 0 0	0	0	1	1	
	1 0 0 0	1	0	1	2	
小 計		13	0	2	15	
2 4 MHz z	1 0 0	2	0	0	2	
	2 0 0	0	0	0	0	
	3 0 0	0	0	0	0	
	4 0 0	0	0	0	0	
	5 0 0	0	0	1	1	
	6 0 0	0	0	1	1	
	7 0 0	0	0	0	0	
	8 0 0	0	0	0	0	
	9 0 0	0	0	0	0	
	1 0 0 0	0	0	0	0	
小 計		2	0	2	4	
WARC-1 0 0 0		2	0	0	2	
1 3 5 kHz 1 0～1 0 0		0	0	0	0	
4 7 5 kHz 1 0～1 0 0		0	0	0	0	

50MHz	100	7	0	0	7
	200-1000	0	0	0	0
小計		7	0	0	7
144MHz	100	3	0	0	3
	200	1	0	0	1
	300	2	0	0	2
	400	1	0	0	1
	500	2	0	0	2
	600	2	0	0	2
	700	1	0	0	1
	800	0	0	0	0
	900	0	0	0	0
	1000	0	0	0	0
小計		12	0	0	12
430MHz	100	6	0	0	6
	200	1	0	0	1
	300	2	0	0	2
	400	1	0	0	1
	500	1	0	0	1
	600-1000	0	0	0	0
小計		11	0	0	11
1200MHz	10	4	0	0	4
	50	0	0	0	0
	100	2	0	0	2
	200	0	0	0	0
	300	0	0	0	0
	400	0	0	0	0
	500	2	0	0	2
小計		8	0	0	8
2400MHz 10~500		0	0	0	0
5600MHz 10~500		0	0	0	0
10GHz 10~500		0	0	0	0
24GHz 10~500		0	0	0	0
47GHz 10~500		0	0	0	0
75GHz 10~500		0	0	0	0
V・U	1000	3	0	0	3
	2000	1	0	0	1
	3000	2	0	0	2
	4000	0	0	0	0
	5000	1	0	0	1
	6000	0	0	0	0
	7000	0	0	0	0
	8000	0	0	0	0
	9000	0	0	0	0
	10000	1	0	0	1
小計		8	0	0	8
W A C A		31		0	31
H A C A			0	0	0
W A G A		25		0	25
H A G A			0	0	0
A D X A		35	0	0	35
ADXA-HALF		8	0	0	8
WASA	V・U・SHF	2	0	0	2
	H F	10	0	0	10
H A C			3	0	3
アマチュア衛星「ふじ」		1	0	0	1
JARL-Station	J賞	14	0	0	14
	A賞	6	0	0	6
	R賞	6	0	1	7
	L賞	2	0	0	2

W A K U	19	0	0	19
合 計	545 (1, 235)	4 (42)	66 (138)	615 (1, 415)

()内は令和6年度の数字。以下同じ

2. ステッカー発行数

		アマチュア局	S W L	海 外 局	合 計
J C C	1 5 0	2	0	1	3
	2 5 0	1	0	0	1
	3 5 0	1	0	0	1
	4 5 0	1	0	0	1
	5 5 0	2	0	1	3
	6 5 0	0	0	1	1
	7 5 0	2	0	0	2
小 計		9	0	3	12
J C G	1 5 0	1	0	1	2
	2 5 0	8	0	1	9
	3 5 0	5	0	0	5
	4 5 0	1	0	0	1
	5 5 0	1	0	0	1
小 計		16	0	2	18
A J A	5 0 0	14	0	0	14
	2 5 0	106	0	0	106
W A S A	5 0	2	0	0	2
	1 0 0	139	6	0	145
W A R C	1 0 0 0	2	0	0	2
合 計		288 (1, 010)	6 (23)	5 (7)	299 (1, 040)

3. D-STARアワード発行数

		アマチュア局	S W L	海 外 局	合 計
D-STAR	D賞	3	0	0	3
	S賞-100	0	0	0	0
	T賞	2	0	0	2
	A賞-100	4	0	0	4
	A賞・200-800	0	0	0	0
	R賞-50	3	0	0	3
	R賞・100-200	0	0	0	0
	R賞-250	1	0	0	1
合 計		13 (9)	0 (0)	0 (0)	13 (9)

4. JARL全日本10,000局アワード

		アマチュア局	S W L	海 外 局	合 計
JARL全日本	2500	0	0	0	0
	5000	0	0	0	0
	7500	0	0	0	0
	10000	6	0	0	6
合 計		6 (6)	0 (0)	0 (0)	6 (6)

5. JARL全世界10,000局アワード

		アマチュア局	S W L	海 外 局	合 計
JARL全世界	2500	2	0	0	2
	5000	2	0	0	2
	7500	3	0	0	3
	10000	11	0	0	11
合 計		18 (8)	0 (0)	0 (0)	18 (8)

6. 代行申請数

W A C	W A C	5 B W A C	6 B W A C	合 計
	31 (51)	7 (1)	3 (1)	41 (53)

7. 楯数

	W A C A ・ H A C A			W A G A ・ H A G A			合 計		
	アマチュア	SWL	海外局	アマチュア	SWL	海外局	アマチュア	SWL	海外局
	4 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (6)	0 (0)	0 (0)	7 (9)	0 (0)	0 (0)

8. Q S Lカードの所持内容証明発行数

13 件

9. D X C Cフィールドチェック件数
(ハムフェア2025受付分 70件含む)

388 件

10. JARLアワードマスター

4 件

レピータ局及びビーコン局の運用

(1)レピータ局

区 分	28[MHz]	430[MHz]	1200[MHz]	2400[MHz]	5600[MHz]	10.1[GHz]	合 計
前年度までの数	1	672	309	38	4	5	1029
令和7年度の開設数	-	9	-	1	-	-	10
令和7年度の廃止数	-	10	5	1	-	-	16
合 計	1	671	304	38	4	5	1023

(2)ビーコン局

国際ビーコン計画に基づき、HF帯（14.1MHz、18.11MHz、21.15MHz、24.93MHz、28.2MHzの5バンド）でのビーコンは、平成9年5月18日から運用を開始したものを
 含め、50MHz、1200MHz並びに2400MHz及び5600MHz帯のビーコン電波を発射
 （一部、停波中。）しています。

令和7年度特別記念局等の開設・運用状況

<特別局>

地方本部	行事等の名称	開設期間	識別信号	運用場所等
関 東	第74回水郷潮来あやめまつり	07. 04. 01～07. 06. 30	8J1SUIGO	茨城県潮来市
	いすみ市市制施行20周年記念事業	07. 06. 07～07. 12. 07	8N1ISMC	千葉県いすみ市
	第42回朝霞市民まつり「彩夏祭」	07. 07. 21～07. 08. 21	8J1SAIKA	埼玉県朝霞市
	December YOTA Month 2025	07. 12. 12～08. 01. 01	8N1YOTA	東京都豊島区
	第50回古河桃まつり	08. 03. 01～08. 03. 29	8N1MOMO	茨城県古河市
東 海	愛知万博20周年記念事業	07. 03. 25～07. 09. 25	8J20AI	愛知県名古屋
	第70回おりもの感謝祭一宮七夕まつり	07. 04. 26～07. 07. 27	8J2T	愛知県一宮市
	ねんりんピック2025	07. 08. 10～07. 10. 21	8N25G	岐阜県岐阜市
	岐阜市産業・農業祭～ぎふ信長まつり～	07. 11. 01～07. 11. 02	8J25N	岐阜県岐阜市
	下呂 Art Discovery 2026	08. 03. 01～08. 11. 30	8J2GRAD	岐阜県下呂市
関 西	わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025	07. 09. 01～07. 10. 28	8J3SHIGA	滋賀県東近江市
四 国	第40回砥部焼まつり	07. 03. 01～07. 04. 30	8J5TOBE	愛媛県伊予郡
	南極と交信チャレンジ及び国内のアマチュア無線局と交信体験	06. 06. 01～07. 05. 31	8J5TOSA	高知県高知市
	高知ものべがわエリア観光博「ものべすと」	07. 04. 01～08. 03. 31	8J5ANPAN	高知県南国市
	受信環境クリーン月間	07. 07. 01～07. 10. 31	8N5CLEAN	愛媛県松山市
	第41回砥部焼まつり	08. 03. 01～08. 04. 30	8J5TOBE	愛媛県伊予郡
九 州	第64回博多どんたく港まつり	07. 04. 29～07. 05. 05	8J6DON	福岡県福岡市
	2025佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	07. 10. 05～07. 11. 05	8J6BAL	佐賀県三養基郡
北海道	第76回さっぽろ雪まつり	08. 01. 10～08. 02. 11	8J8SSF	北海道札幌市
	北海道新幹線開業10周年記念	08. 01. 17～08. 03. 31	8J8H5K	北海道函館市
北 陸	9エリア70周年記念事業	07. 07. 10～07. 08. 10	8J9A	富山県南砺市
	令和7年度受信環境クリーン月間	07. 10. 01～07. 10. 31	8N9C	福井県大野市
信 越	受信環境クリーン月間PR運用	07. 10. 01～07. 10. 31	8N0CC	新潟県糸魚川市
	燕市合併20周年記念	08. 03. 14～08. 04. 12	8J0TBM	新潟県燕市

<特別記念局>

地方本部	行事等の名称	開設期間	識別信号	運用場所等
関東	2025アマチュア無線フェスティバル	07.07.01～07.08.24	8J1HAM	東京都江東区
	2025アマチュア無線フェスティバル	07.08.11～07.08.24	8J1HAM	東京都武蔵野市
	2025アマチュア無線フェスティバル	07.08.08～07.08.24	8J1HAM	東京都三鷹市
	2025アマチュア無線フェスティバル	07.08.02～07.08.24	8J1HAM	東京都青梅市
	2025アマチュア無線フェスティバル	07.08.03～07.08.24	8J1HAM	東京都小金井市
東海	第57回東海ハムの祭典	07.04.01～07.10.26	8J2TKI	愛知県名古屋市
	2025 IARU HF World Championship	07.07.05～07.07.13	8N2HQ	静岡県富士市
	2025 IARU HF World Championship	07.07.05～07.07.13	8N2HQ	愛知県岡崎市
関西	大阪関西万博PR記念局	07.04.13～07.10.13	8K3EXP0 JA3XP0	大阪府大阪市 大阪府池田市
中国	第20回世界バラ会議福山大会2025	07.01.01～07.05.23	8J4WRC	広島県福山市
	QRPデー	07.04.19～07.06.30	8J4VLP	岡山県岡山市
九州	QRPデー	07.04.26～07.07.31	8J6VLP	福岡県久留米市
	2025 IARU HF World Championship	07.06.21～07.07.13	8N6HQ	佐賀県唐津市
	第23回西日本ハムフェア	08.01.01～08.03.08	8J6HAM	福岡県京都郡
北海道	第8回北海道ハムフェア	07.06.20～07.09.21	8J8HAM	北海道河西郡
	2025 IARU HF World Championship	07.06.21～07.07.13	8N8HQ	北海道札幌市
	2025 IARU HF World Championship	07.06.21～07.07.13	8N8HQ	北海道石狩郡
北陸	QRPデー	07.04.20～07.06.30	8J9VLP	石川県河北郡
	2025全日本ARDF競技大会	07.08.01～07.10.31	8J9ARDF	富山県南砺市

2025地方ARDF競技大会実施状況

エリア	開催日 (部門)	クラス別参加選手数																							
		N00	W12	W15	W17	W19	W21	W35	W45	W50	W55	W60	W65	W70	M12	M15	M17	M19	M21	M40	M50	M60	M70	M75	合計
関東	11月30日 144MHz帯部門	1	0	1	1	－	5	2	－	1	－	4	0	0	－	7	27	－	15	1	5	7	10	0	87
東海	11月9日 144MHz帯部門	－	0	0	－	0	1	1	0	－	0	－	0	0	0	0	－	0	4	2	1	2	5	2	18
関西	11月3日 スプリント 競技部門	－	0	0	－	2	1	1	0	－	0	－	0	0	0	6	－	12	5	2	3	1	4	1	38
中国	10月26日 144MHz帯部門	－	0	0	－	0	0	1	0	－	0	－	0	0	0	0	－	0	4	2	3	4	1	0	15
四国	5月25日 144MHz帯部門	－	0	1	－	3	0	2	0	－	0	－	0	0	0	2	－	9	5	3	0	7	2	5	39
九州	－																								
東北	－																								
北海道	－																								
北陸	－																								
信越	5月25日 144MHz帯部門	－	0	0	－	0	1	0	2	－	0	－	0	1	0	0	－	1	10	1	4	8	6	4	38
合計		1 (－)	0 (0)	2 (3)	1 (－)	5 (9)	8 (4)	7 (4)	2 (8)	1 (－)	0 (0)	4 (－)	0 (1)	1 (3)	0 (0)	15 (14)	27 (－)	22 (69)	43 (35)	11 (7)	16 (11)	29 (31)	28 (27)	12 (18)	235 (244)

(注1) ()内は、令和6年度の数字を表します。

(注2) N00、W17、W50、W60、M17クラスは関東地方で開催した独自のクラスです。

2011地方競技大会の参加者数は243人
2012地方競技大会の参加者数は228人
2013地方競技大会の参加者数は290人
2014地方競技大会の参加者数は253人
2015地方競技大会の参加者数は650人
(関西は、2015全日本ARDF競技大会に兼ねて実施)
2016地方競技大会の参加者数は283人
2017地方競技大会の参加者数は229人
2018地方競技大会の参加者数は200人
2019地方競技大会の参加者数は187人
2020地方競技大会の参加者数は24人
2021地方競技大会の参加者数は29人
2022地方競技大会の参加者数は395人
2023地方競技大会の参加者数は163人
2024地方競技大会の参加者数は244人

QSL・SWLカード転送状況

(令和7年4月～令和8年3月)

項 目 月 別	国内転送枚数	外国転送枚数	非会員枚数	取扱処理枚数
令和7年4月	502,894	272,496	57,303	832,693
5月	428,005	0	47,128	475,133
6月	613,983	250,343	44,752	909,078
7月	514,652	0	45,790	560,442
8月	501,308	0	45,515	546,823
9月	408,781	345,583	56,408	810,772
10月	525,531	0	61,128	586,659
11月	578,803	0	45,529	624,332
12月	544,728	0	44,231	588,959
令和8年1月	358,062	0	12,275	370,337
2月	76,939	91,080	4,617	172,636
3月	130,811	57,653	8,895	197,359
合 計	5,184,497	1,017,155	473,571	6,675,223
月平均	432,041	84,763	39,464	556,269

令和6年度合計	6,908,147	357,096	682,361	7,947,604
増 減	-1,723,650	660,059	-208,790	-1,272,381
増 減 率 (%)	-25.0%	184.8%	-30.6%	-16.0%

令和7年度行事一覧

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
4	1～4/29		広島県支部 公開運用(呉みなと祭)
	1～5/24		空知留萌支部 ガイダンス局運用
	1～6/30		東海地方本部 ガイダンス局運用(静岡県)
	1～3/31		高知県支部 あんぱん特別記念局運用
	5		神奈川県支部 神奈川非常通信コンテスト
			渡島檜山支部 定例ロールコール
	5～6		岐阜県支部 道三まつり特別局運用
			長崎県支部 2025長崎県コンテスト
	6		滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
			和歌山県支部 和歌山コンテスト
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	10		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	10～29		京都府支部 KANHAM記念局運用
	12		長野県支部 ARDF競技大会(ARDF長野)
	12～13		信越地方本部 信越非常通信訓練コンテスト
	13		上川宗谷支部 公開・体験運用(美深白樺樹液春まつり)
	13～10/13		関西地方本部 大阪・関西万博特別記念局運用
	15		愛媛県支部 コンテスト集計確認会議
	19		東海地方本部会議
			中国地方本部 ARDF審判員講習会
	19～20		東北地方本部 オール東北コンテスト
	20		東京都支部 支部大会+おうめde無線フェア
			埼玉県支部 CW講習会
			熊本県支部 コンテストログ(GTESTWIN)勉強会/コンテストログ集計勉強会
5	20～6/30		北陸地方本部 QRPデー特別記念局運用(北陸各県)
	26	監事の監査	愛知県支部 電子工作・無線体験ワークショップ
			新潟県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会
	26～27	ALL JA コンテスト	茨城県支部 オール茨城コンテストI部
	29～5/5		福岡県支部 博多どんたく港まつり特別局運用
	1～3		山口県支部 公開運用(海峡まつり、先帝祭)
	2～5		広島県支部 公開運用(ひろしまフラワーフェスティバル)
	3		東京都支部 東京コンテスト
	4		渡島檜山支部 定例ロールコール
	5		静岡県支部 静岡コンテスト
			滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
			三重県支部 オール三重33コンテスト
			岡山県支部 ハムハムアイボール

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
5	5		上川宗谷支部 青少年とアマチュア無線の活性化事業 石川県支部 公開・体験運用(こどもの日行事「キゴ山山開きイベント」)
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	10		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 東海地方本部 東海ハムの祭典実行委員会 奈良県支部 ARDF練習会/大阪・関西万博特別記念局体験運用
	10~11		信越地方本部 JA0-VHFコンテスト 山口県支部 おいでませオール山口コンテストHF 青森県支部・渡島檜山支部 津軽海峡コンテスト
	10~6/11		奈良県支部 大阪・関西万博特別記念局運用 中国地方本部 監査指導委員長会議(ZOOM)
	11		千葉県支部 フィールドミーティング 茨城県支部 いばらきハムの集い実行委員会 長野県支部 前期QSOパーティー
	12~25		富山県支部 情報通信月間PRアマチュア無線局の運用
	15~6/15		広島県支部 公開運用(福山ばら祭) 栃木県支部 利根川水系連合・総合水防演習(展示、広報)
	16~18		香川県支部 CW勉強会 秋田県支部 高校ARDF春季大会
	17		群馬県支部 オール群馬コンテスト 山口県支部 おいでませオール山口コンテストV/U/SHF
	17~18		東京都支部 神奈川県支部主催フィールドミーティングへ出展 神奈川県支部 かながわアマチュア無線フィールドミーティング
	18		山梨県支部 神奈川県支部主催フィールドミーティングへ出展 三重県支部 フィールドミーティング2025 和歌山県支部 和歌山ハム・ベンション(春季)
			大分県支部 はむ寺子屋 新潟県支部 新潟コンテスト(7MHz/ハイバンド)
	24	第80回理事会(Web会議併催)	新潟県支部 ARDF競技大会
	25	四国地方ARDF競技大会 信越地方ARDF競技大会	埼玉県支部 さいたまフィールドミーティング 静岡県支部 西部ハムの祭典
	31		関西地方本部会議(ZOOM併用) 中国地方本部会議

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
5	31 31～6/1 31～6/6		四国地方本部会議 宮城県支部 電波の日記念運用 福島県支部 電波の日記念移動運用
6	1 1～10 1～25 7 7～8 8 12 14 14～15 15		北陸地方本部 北陸ハムフェスティバル2025 ・9エリア70周年記念式典 茨城県支部 いばらきハムの集い 山梨県支部 山梨ハムの集い・アイボール会 ・抽選会 愛知県支部 ちびっ子電波教室(情報通信月 間協賛) 滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール 徳島県支部 アマチュア無線実践勉強会 岩手県支部 支部大会・ハムの集い/電波の日 記念運用 山形県支部 電波の日記念運用 釧路根室支部 オール釧根コンテスト 富山県支部 支部の集い 福井県支部 北陸フェスティバル参加 十勝支部 マラソンQSO 青森県支部 公開運用(電波の日記念) 関東地方本部会議/監査指導委員長会議 神奈川県支部 オール神奈川コンテスト 渡島檜山支部 定例ロールコール 宮崎県支部 宮崎コンテスト 山形県支部 山形さくらんぼQSOコンテスト 石狩後志支部 支部コンテスト 北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築 訓練 信越地方本部 コンテスト委員会 山梨県支部 山梨コンテスト 和歌山県支部 アンテナ製作講習会 香川県支部 アマチュア無線局初心者講習会 高知県支部 ハムの集い(支部大会) 秋田県支部 「電波の日」記念運用 宮城県支部 宮城通信訓練コンテスト 渡島檜山支部 フォックスハンティング大会 ・懇親会 福井県支部 ARDF練習会 新潟県支部 新潟コンテスト(ローバンド) 大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 秋田県支部 高校ARDF大会 群馬県支部 ARDF競技大会 岐阜県支部 オール岐阜コンテスト 兵庫県支部 第四級アマチュア無線技士養成 課程講習会 大分県支部 大分コンテスト 中国地方本部 ARDF審判員講習会 東京都支部・埼玉県支部 無線サイエンスセ

月	日	行事	
		連盟	地方本部・支部
6	15		ミナーin東京大学 福岡県支部 電波教室 岩手県支部 2025年岩手通信訓練コンテスト 滋賀県支部 万博記念局体験運用 静岡県支部 総務省規正局・ガイダンス局連携運用 十勝支部 北海道ハムフェア特別記念局運用 渡島檜山支部 北海道ハムフェア特別記念局運用
	15～7/12		
	18		
	20～29		
	21～22	ALL ASIAN DX コンテスト(電信部門)	
	22	第14回定時社員総会	島根県支部 島根対全日本コンテスト 高知県支部 子供科学工作教室の打合せ 高知県支部 南極昭和基地、その他国内局との交信体験 福島県支部 施設見学会 関西地方本部会議(ZOOM併用) 北海道地方本部 ALL JA8コンテスト 広島県支部 1アマ2アマ勉強会 鹿児島県支部 ARDF競技大会 奈良県支部 非常通信を想定した通信実験 福島県支部 CW交流会 滋賀県支部 国スポ・障スポ滋賀2025記念局体験運用
	23		
	25		
	28		
	28～29		
	29		
	29～10/27		
7	1		青森県支部 アマチュア無線強化月間 東海地方本部 ガイダンス局運用(愛知県) 北陸地方本部会議 栃木県支部 栃木コンテスト オホーツク支部 野外ミーティング 渡島檜山支部 定例ロールコール 茨城県支部 オール茨城コンテストⅡ部 滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール 徳島県支部 ハムログhQSL入力研修会 北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練 渡島檜山支部 救命講習会 北陸地方本部 9エリア70周年記念事業特別局運用(北陸各県) 大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 東海地方本部 東海ハムの祭典実務委員会 四国地方本部会議 九州地方本部会議 北海道地方本部会議/北海道選出社員との懇談会 オホーツク支部 オホーツクコンテスト 東海地方本部会議/東海ハムの祭典実行委員会 東京都支部 コンテスト委員会
	1～9/30		
	5		
	5～6	6m AND DOWN コンテスト	
	6		
	8		
	10		
	12		
	12～13		
	13		

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
7	13	第81回理事会 (Web会議併催)	山梨県支部 フィールドミーティング 愛媛県支部 愛媛ハムの集い
	14		山口県支部 馬関祭コンテスト
	17～19		神奈川県支部 技術講習会(ダミーロードの作成とVNWA測定)
	19		上川宗谷支部 支部大会前夜祭
	19～20		関西地方本部 関西アマチュア無線フェスティバル
	20		四国地方本部 オールJA5コンテスト 東北地方本部会議
	20		茨城県支部・栃木県支部 栃木・茨城合同ミーティング
	21		群馬県支部 支部大会 長崎県支部 長崎県非常通信訓練コンテスト
	21～9/13		沖縄県支部 ローカルミーティング
	25		宮城県支部 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2025
	25～31		上川宗谷支部 支部大会
	26		新潟県支部 潟ハムフェア
	26～27		滋賀県支部 ALL滋賀コンテスト
	26		鳥取県支部 技術研修会
	26～27		渡島檜山支部 ガイダンス局運用
	26		長野県支部 記念運用(国宝松本城太鼓まつり)
	26～28		福島県支部 全福島マラソンQSO
	27		広島県支部 公開運用(三次きんさい祭)
	27		和歌山県支部 支部移動デイ
8	29	フィールドデー コンテスト	鹿児島県支部 鹿児島コンテスト/青少年のための科学の祭典
	30～31		青森県支部 オール青森コンテスト
	1		新潟県支部 全国高校ARDF大会
	1～31		埼玉県支部 ニューカマー・カムバックハムセミナー
	2		奈良県支部 アンテナ製作講習会
	2～3		岡山県支部 ハムの集い岡山2025
			徳島県支部 FT8実践講座
			空知留萌支部 支部総会
			富山県支部 「ラジオ工作教室」・体験運用/ 「みんなでラジオを作ろう」・体験運用
			鹿児島県支部 電波教室(ラジオ工作)
8	1	フィールドデー コンテスト	熊本県支部 総合通信局イベント
	1～31		石川県支部 公開・体験運用(9エリア70周年記念事業特別局)
	2		高知県支部 受信環境クリーン月間特別局運用
	2～3		渡島檜山支部 定例ロールコール

月	日	行事	
		連盟	地方本部・支部
8	3		香川県支部 ARDF審判員講習会 高知県支部 子供科学工作教室(小学生親子で参加) 秋田県支部 高校ARDF夏季大会(こまち杯) 渡島檜山支部 アマチュア無線の楽しさ大発見 富山県支部 「みんなでラジオを作ろう」・体験運用
	5~14		空知留萌支部 北海道ハムフェア特別記念局運用
	6		鹿児島県支部 電波教室(ラジオ工作)
	7		鹿児島県支部 電波教室(ラジオ工作)
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	9		沖縄県支部 アマチュア無線体験会@小禄児童館
	9~10		北陸地方本部 JA9コンテストVU2025
	10		奈良県支部 奈良V・UHFコンテスト 岐阜県支部 親子電子工作教室
	10~11		徳島県支部 制作トレーニング夏期講座(1) 渡島檜山支部 第四級アマチュア無線技士養成講習会支援
	11		栃木県支部 青少年の体験運用&記念局運用(8J1HAM) 上川宗谷支部 支部コンテスト
	14		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	17		山梨県支部 電波教室(ラジオの製作) 和歌山県支部 モービルFOXハンティング 岡山県支部 ビギナー&カムバックハムセミナー 徳島県支部 制作トレーニング夏期講座(2) 福岡県支部 電波教室
	22~24		胆振日高支部 支部コンテスト
	23~24	2025アマチュア無線フェスティバル	東海地方本部 2025アマチュア無線フェスティバル出展 東京都支部 2025アマチュア無線フェスティバル出展
	24		佐賀県支部 オール佐賀コンテスト
	28		岡山県支部 電子工作教室at新田公民館 愛知県支部 総務省規正局・ガイダンス局連携運用
	30		宮崎県支部 電波教室、ラジオ工作教室
	30~31		新潟県支部 ギガヘルツコンテスト
	31		和歌山県支部 CW&DXミーティング 秋田県支部 災害ロールコール 石狩後志支部 支部大会

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
8	31		渡島檜山支部 青少年のための科学の祭典
9	1		新潟県支部 受信環境クリーン月間PR局運用
	1～10		徳島県支部 AWA9コンテスト
	1～30		香川県支部 受信環境クリーン月間特別局運用
	1～10/31		信越地方本部 全国受信環境クリーン月間PR活動
	5		滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
	6		十勝支部 支部大会前夜祭
			渡島檜山支部 定例ロールコール
			新潟県支部 青少年のための科学の祭典-燕・弥彦大会-
	6～7	ALL ASIAN DX コンテスト(電話部門)	渡島檜山支部 支部コンテスト
	7		長野県支部 後期QS0パーティー
			滋賀県支部 コンテスト委員会
			岡山県支部 オール岡山 FT8/FT4コンテスト2025
			福岡県支部 ハムの集い
	8		十勝支部 支部大会
			北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	9		石狩後志支部 北海道ハムフェア特別記念局運用
	11		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	13		東海地方本部 東海ハムの祭典実務委員会
			渡島檜山支部 支部大会前夜祭
	13～14		山梨県支部 第四級アマチュア無線技士養成課程講習会
			福岡県支部 福岡コンテスト
			秋田県支部 オール秋田コンテスト
	13～10/25		オホーツク支部 ガイダンス局運用
	14		静岡県支部 支部大会
			京都府支部 初級CW教室
			奈良県支部 非常通信を想定した通信実験
			島根県支部 支部大会・ハムの集い
			山口県支部 D-STAR実践研修会「画像通信編」
			香川県支部 製作技術講習会
			徳島県支部 AWAログの使い方講習
			青森県支部 渡島檜山支部大会参加(青函交流事業)
			宮城県支部 ハムのつどい
	15		渡島檜山支部 支部大会・ハムの集い
			石狩後志支部 公開運用(北海道ハムフェア特別記念局)
	20		北海道地方本部 北海道アイボールミーティング
	20～21		北海道地方本部 北海道ハムフェア

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
9	21	第82回理事会 (Web会議併催)	東京都支部 青少年のための科学の祭典東京大会出展
			岐阜県支部 支部大会・ハムの集い
			三重県支部 モービルFOX2025
			奈良県支部 フィールドミーティング大会
			岡山県支部 オール岡山コンテスト
			大分県支部 はむ寺子屋
			東海地方本部 愛・地球博コンテスト
			熊本県支部 ハムの集い
			山口県支部 電波体験教室
			東海地方本部 東海ハムの祭典実行委員会
			神奈川県支部 ニューオペレータハム講座
			徳島県支部 ハムの集いin2025準備会
			鹿児島県支部 ハムのつどい
			青森県支部 支部大会&ハムの集い
			釧路根室支部 支部大会
			渡島檜山支部 青森県支部大会参加
10	1 1~31	全市全郡コンテスト	長野県支部 受信環境クリーン月間PR局運用
			北陸地方本部 受信環境クリーン月間特別局運用(北陸各県)
			東京都支部 東京都支部登録クラブオンエア一月間
			関西地方本部会議 (ZOOM)
			中国地方本部会議
			福岡県支部 飯塚科学広場
			渡島檜山支部 函館市防災フェスタ視察/定例ロールコール
			東海地方本部会議
			香川県支部 2025香川ARDF競技大会
			徳島県支部 普通救命講座
			山形県支部 ハムミーティングin鶴岡
			渡島檜山支部 第三級アマチュア無線技士養成講習会支援
			広島県支部 公開運用(酒まつり)
			佐賀県支部 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ特別局運用
			北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
			大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
			関東地方本部会議
			徳島県支部 ハムの集いin2025準備会
			秋田県支部 高校3.5メガARDF大会
			栃木県支部 製作技術講習会
			山梨県支部 電波教室(ラジオの製作)
			三重県支部 支部大会 三重県ハムフェスティバル2025
			宮城県支部 アマチュア無線何でも相談室
	22~23 23 27~28 28		
	4		
	5		
	6~12 6~11/5		
	8		
	9 11		
	11~12 12		

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
10	12		オホーツク支部 支部大会・ハムの集い
	13		東京都支部・神奈川県支部 合同野外ミーティング2025
			鳥取県支部 オール鳥取コンテスト
			福島県支部 ハムの集い
	17		静岡県支部 JARL事務局見学ツアー
	17~11/2		山口県支部 合同ハムの集い事前運用
	18		東京都支部 JOTAボーイスカウト日本連盟行事支援(体験運用)
			徳島県支部 ハムの集いin2025
			長崎県支部 青少年のための科学の祭典2025
			大分県支部 おおいたはむの集い前夜祭
	18~19	2025全日本ARDF競技大会	
	19		千葉県支部 オール千葉コンテスト
			徳島県支部 とくしま防災フェスタ2025
			熊本県支部 電波教室(I)FMラジオ工作
			大分県支部 支部総会・おおいたはむの集い
			宮崎県支部 ハムの集い/支部総会/体験運用、ラジオ工作教室
			秋田県支部 ハムの集い
			胆振日高支部 支部大会
	20		高知県支部 アマチュア無線特別局体験運用(小中高生)
	20~11/14		青森県支部 ガイダンス局運用
	21		三重県支部 総務省規正局・ガイダンス局連携運用
	25		鳥取県支部 ハムの集い・支部大会
			宮城県支部 電波教室(FMラジオ製作)
	25~26		胆振日高支部 体験運用
	26	中国地方ARDF競技大会	東海地方本部 東海ハムの祭典
			東京都支部 東京CWコンテスト
			埼玉県支部 埼玉県感度交換訓練
			愛知県支部 支部大会
			和歌山県支部 和歌山ハム・ベンション(秋季)
			高知県支部 技術講習会(コンテスト電子ログ申請講習会)
11	1		岡山県支部 おかやまミルクフェア
			渡島檜山支部 定例ロールコール
	1~2		岐阜県支部 ぎふ信長まつり特別局運用
	1~7		東海地方本部 東海マラソンコンテスト
	1~10		高知県支部 高知マラソンコンテスト
	2		中国地方本部・山口県支部 合同ハムの集い
			千葉県支部 hQSL講習会
			群馬県支部 群馬ハムの集い
			滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール
			奈良県支部 非常通信を想定した通信実験
			大阪府支部 オール大阪コンテスト

月	日	行事	
		連盟	地方本部・支部
11	2	関西地方ARDF競技大会	上川宗谷支部 秋のCOCODEまつり2025
	2～3		北陸地方本部 JA9コンテストHF2025電話部門
	3		
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	8～9		長野県支部 支部大会前夜祭 京都府支部 青少年のための科学の祭典京都大会
	9	東海地方ARDF競技大会	神奈川県支部 かながわハムの集い2025 山梨県支部 第三級アマチュア無線技士養成課程講習会 愛知県支部 あいち防災フェスタ 徳島県支部 モールス勉強会(1) 秋田県支部 コンテスト委員会 長野県支部 支部大会
	10		北陸地方本部 総合通信局規正局とガイダンス局の合同運用(石川県)
	11		京都府支部 近畿総通と合同でガイダンス局運用
	13		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	15		奈良県支部 青少年のための科学の祭典 福井県支部 ハムの集い 長野県支部 長野高専キッズサイエンス出展
	15～16		北陸地方本部 JA9コンテストHF2025電信部門
	16		山梨県支部 公開運用(県民の日記念行事出展) 滋賀県支部 ハムのつどい 和歌山県支部 テクニカル講座 広島県支部 ハムの集い・支部大会 徳島県支部 モールス勉強会(2) 長崎県支部 アマチュア無線の祭典(ハムの集い) 熊本県支部 電波教室(Ⅱ)FMラジオ工作 沖縄県支部 アマチュア無線局の体験運用 in NICT
	22～23	第83回理事会(Web会議併催)	九州地方本部 オール九州コンテスト
	23		東京都支部 東京UHFコンテスト 山梨県支部 山梨地区非常無線通信訓練コンテスト 京都府支部 支部大会 熊本県支部 アイボール会
	24		埼玉県支部 さいたまハムの集い・支部大会 香川県支部 三木町イベント(Miki Green Out Meeting)
	26	選挙管理会(Web会議併催)	
	29		四国地方本部会議

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
11	29	関東地方ARDF競技大会	北海道地方本部会議/北海道選出社員との懇談会 茨城県支部 ARDF競技大会 新潟県支部 第三級アマチュア無線技士養成課程講習会 東海地方本部 東海ハムの祭典実行委員会 信越地方本部会議(合同役員会) 東京都支部 はむハムフェア番外編アンテナミーティング 栃木県支部 とちぎビギナーセミナー&青少年の体験運用 山梨県支部 公開運用(山梨県地震防災訓練出展) 岐阜県支部 けやき祭り
	30		
12	1~15 6		香川県支部 香川マラソンコンテスト 関東地方本部会議 関西地方本部会議(ZOOM併用)/年末ハムの集い 中国地方本部会議 北陸地方本部会議 静岡県支部 技術講習会 渡島檜山支部 定例ロールコール 神奈川県支部 かながわハンディーメリット交換day 千葉県支部 ちばハムの集い準備会 京都府支部 KCWA CWコンテスト 滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール 鳥取県支部 技術研修会 佐賀県支部 ハムの集い・チャリティオークション
	7		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	8		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール
	11		埼玉県支部 CW講習会
	14		静岡県支部 支部と高文連ARDF競技大会 岐阜県支部 炊き出し大訓練 兵庫県支部 ラジオの製作技術講習会 熊本県支部 電波教室(Ⅲ)クリスマスイルミネーション製作
	20		長野県支部 ALL JAφコンテスト(1.8MHz)
	21~2/14		釧路根室支部 ガイダンス局運用
	31		渡島檜山支部 年末ロールコール
令和8年		QSOパーティー	東海地方本部 ガイダンス局運用(岐阜県)
1	1~3/31		渡島檜山支部 ZOOMによるモールス講習会
	2		秋田県支部 VUオール秋田QSOパーティー
	2~3		胆振日高支部 ニューイヤー2mコンテスト
	2~7		十勝支部 QSOパーティー
	3		渡島檜山支部 定例ロールコール

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
1	4		兵庫県支部 オール兵庫コンテスト
	8		北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
	10		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 和歌山県支部 支部大会打合せ 鳥取県支部 新春Webミーティング 富山県支部 富山県非常通信訓練コンテスト
	10～11		東海地方本部会議
	10～2/11		石狩後志支部 さっぽろ雪まつり記念局運用
	11		信越地方本部会議(長野) 千葉県支部 ちばハムの集い準備会 香川県支部 コンテスト委員会 愛媛県支部 新春グランドミーティング 福岡県支部 新年賀詞交歓会 熊本県支部 2026オール熊本コンテスト 渡島檜山支部 アマチュア無線の散歩道 東海地方本部 おもしろ科学教室 各種学会・組織連携
	12		埼玉県支部 オール埼玉コンテスト 高知県支部 コンテスト委員会 大分県支部 はむ寺子屋 大分県支部 新春アイボールパーティ 宮崎県支部 新春アイボールミーティング 鹿児島県支部 日置市「青少年科学の祭典」 渡島檜山支部 新年会/文化講演会「日本初の非常通信」
	17～18		茨城県支部 賀詞交歓会 宮城県支部 オール宮城コンテスト 渡島檜山支部 公開運用(北海道新幹線開業10周年記念特別局)
	17～3/28		東京都支部 コンテスト委員会 神奈川県支部 2025年度新年アイボールパーティ 栃木県支部 新春アイボールパーティ 奈良県支部 CW実技講習会 岡山県支部 電子工作教室atライフパーク倉敷
	18		長野県支部 記念運用(光と氷の城下町フェスティバル:氷彫)
	23		信越地方本部会議(新潟) 新潟県支部 新年会
	24		中国地方本部 ARDF審判員講習会(ZOOM)
	25		神奈川県支部 神奈川ニューイヤーQRVデー 鳥取県支部 OSO訓練コンテスト 十勝支部 新年アイボール会
	27		石狩後志支部 電気と電波の出前授業・体験運用会

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
1	30～2/2 31	選挙管理会(文書メールによる)	鹿児島県支部 新年会
2	1	選挙告示 社員・理事の候補者・地方本部長の選挙	栃木県支部 とちぎハムの集い準備会議 三重県支部 技術講習会 滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール 大阪府支部・兵庫県支部 関西ハムシンポジウム 佐賀県支部 支部大会 愛媛県支部 愛媛マラソンコンテスト 山形県支部 山形マラソンQS0パーティ 富山県支部 富山マラソンコンテスト&パーティ
	1～10 1～11		岐阜県支部 技術講習会(CW講習会)
	2		大分県支部 西日本ハムフェア特別記念局運用
	3～10		石狩後志支部 さっぽろ雪まつり体験局運用・アイボール会
	4		渡島檜山支部 定例ロールコール
	7 7～8 8		京都府支部 京都コンテスト 北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築訓練
			千葉県支部 ちばハムの集い準備会 奈良県支部 非常通信を想定した通信実験 和歌山県支部 支部大会・ハムの集い 兵庫県支部 コンテスト審査会 徳島県支部 衛星通信勉強会 高知県支部 救急救命講習会 福島県支部 技術講習会
	11		関東地方本部 関東UHFコンテスト 愛知県支部 アマチュア無線なんでも相談会 岩手県支部 いわてWINTERコンテスト
	12 13		大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 長野県支部 記念運用(光と氷の城下町フェスティバル:イルミ)
	14 15		神奈川県支部 技術講習会(CW QS0実践講座) 東海地方本部 東海ハムの祭典実行委員会 東北地方本部会議
			千葉県支部 ちばハムの集い2026支部大会 群馬県支部 技術講習会 山梨県支部 技術講習会・アイボール会・ミニ抽選会
			静岡県支部 東静アマチュア無線フェアー 大阪府支部 技術講習会(CW講習)
			岡山県支部 技術講習会 長崎県支部 ハムのセミナー
			長野県支部 電信講習会
	15～3/31		胆振日高支部 ガイダンス局の運用

月	日	行 事	
		連 盟	地方本部・支部
2	18 19 19～26 21～22 22	選挙管理会(Web会議併催) 選挙告示 投票の取りやめ告示 社員・理事の候補者・地方本部長の 立候補者告示 無投票当選告示 第84回理事会(Web会議併催)	北海道地方本部 ARDF B級審判員講習会 山形県支部 技術講習会 福井県支部 ハムセミナー「あなたの自慢の ハンディ機、アンテナ見せてください」 長野県支部 初心者講習会(開局申請からCW まで) 沖縄県支部 支部大会(ハムの集い)
	23 24～26 25 28 28～3/1	選挙管理会(文書メールによる)	岐阜県支部 総務省規正局・ガイダンス局連 携運用 関西地方本部会議(ZOOM併用) 北陸地方本部 監査指導委員長会議 熊本県支部 体験運用(西日本ハムフェア特 別記念局) 広島県支部 広島WASコンテスト
3	1		東京都支部 千代田区文化芸術フェスティバ ル2026(ハム取得講習会) 茨城県支部 技術講習会(はじめてのFT8) 栃木県支部 ハムの集い(会員増強) 滋賀県支部 非常通信訓練ロールコール 宮城県支部 アマチュア無線何でも相談室 新潟県支部 メーカーズながおかまつり 徳島県支部 AWA3コンテスト 四国地方本部会議 九州地方本部 西日本ハムフェア前夜祭 渡島檜山支部 定例ロールコール 長野県支部 ALL JA0コンテスト(3.5MHz) 九州地方本部 西日本ハムフェア・特別記念 局運用 北海道地方本部 非常通信ネットワーク構築 訓練 東京都支部 日本航空学園青梅キャンパス無 線クラブ支援アンテナ工事 奈良県支部 非常通信を想定した通信実験 高知県支部 支部報発行委員会 長野県支部 ALL JA0コンテスト(7MHz) 大阪府支部 非常通信訓練ロールコール 胆振日高支部 4アマ講習会でJARL入会案内 中国地方本部 JA4コンテスト 奈良県支部 支部大会(ハムのつどい) 徳島県支部 AWAログの使い方講習
	1～10 7 8 12 14 15 19～23 20	選挙管理会(文書メールによる)	東海地方本部 東海QSOコンテスト

月	日	行事	
		連 盟	地方本部・支部
3	20		高知県支部 アマチュア無線特別局体験運用 (小中高生)
	22		北陸地方本部会議
	28		埼玉県支部 蓮田市防災フェア
	29		関東地方本部会議/監査指導委員長会議
			中国地方本部会議(ZOOM)
			石狩後志支部 親子向けアマチュア無線ファミ ミリー講座
◎非常無線通信訓練・防災訓練			
	5/4	岐阜県	9/14 和歌山県
	5/18	長崎県	9/28 富山県
	5/25	山口県, 福岡県, 鹿児島県	10/17 佐賀県
	5/31	長崎県	10/18 福島県
	6/10	宮崎県	10/19 沖縄県, 長野県
	7/6	渡島檜山	11/3 宮崎県
	8/1	長崎県	11/9 愛知県
	8/27	京都府	11/15 東京都, 岡山県
	8/30	岩手県	12/7 静岡県
	8/31	東京都, 静岡県, 岐阜県, 愛知県, 秋田県	1/10 鹿児島県
	9/1	茨城県, 宮崎県	1/25 愛知県
	9/7	千葉県, 埼玉県, 愛媛県, 高知県, 山形県	3/8 三重県
◎ 各支部ごとにそれぞれ支部役員会議、クラブ代表者会議などを開催するほか、支部報発行、R L局 などの移動運用をおこなった。			

令和 7 年度 理事会報告

(1) 第 80 回理事会

開催日 令和 7 年 5 月 24 日

場 所 当連盟 本部会議室および Web 会議

出席理事 森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事

議 題

第 1 号議題 令和 6 年度事業報告について

原案を一部修正して承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、森田理事、高橋理事)

(正村理事は交通機関の遅延等の影響で当該決議には参加しなかった)

第 2 号議題 令和 6 年度決算について

原案通り承認

賛成 12 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対 3 名 (森野理事、菊池理事、中村理事)

第 3 号議題 定款及び規則の改正について

第 3 号議案の 1 [社員総会デジタル化のための定款改正案]

原案通り承認 (社員総会の第 2 号議案とすることについて承認)

賛成 15 名 (森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 3 号議案の 2 [社員、地方本部長及び支部長の交代時期を 4 月 1 日に変更するための定款及び規則改正案]

原案通り承認 (社員総会の第 3 号議案とすることについて承認)

賛成 15 名 (森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 3 号議案の 3 [役職者について、年齢制限、重任制限及び解任規定を設けるための規則改正案]

原案通り承認 (社員総会の第 4 号議案とすることについて承認)

賛成 15 名 (森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 3 号議案の 4 [A 案 社員兼任を希望する支部長候補者は、社員選挙に立候補するものとする案] [B 案 社員兼任を希望する支部長候補者は、支部長選挙に当選すれば社員にも当選したとみなす案] [C 案 現状維持とする案]

A 案を社員総会の第 5 号議案とすることについて承認

A 案：8 名賛成(山内常務、坂井常務、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、森田理事)、B 案：1 名賛成 (高橋理事)、C 案：6 名賛成

(森田会長、木村副会長、三井副会長、森野理事、菊池理事、正村理事)

第 3 号議案の 5 [社員選挙における 1 票の格差を可能な限り縮小させるための規則改正案]

[A 案 社員全体の定数を 120 人に削減した上で、「一票の格差」をできるだけ縮小させる案] [B 案 「1 票の格差」は地方本部区域ごとの社員の定数のみの調整で実現する案]

A 案を社員総会の第 6 号議案とすることについて承認

定数削減の賛否：賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 3 号議案の 6 [各分野の専門家を理事として迎えるために、理事会が推薦する理事候補の人数の上限を増やすための規則改正案]

原案通り承認 (社員総会の第 7 号議案とすることについて承認)

賛成 9 名 (山内常務、坂井常務、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、森田理事、高橋理事)、反対 6 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、森野理事、菊池理事、正村理事)

第 3 号議案の 7 [理事の候補者に関する規則改正案]

原案通り承認 (社員総会の第 8 号議案とすることについて承認)

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 3 号議案の 8 [代表理事の業務代行順位を定めるための定款改正案]

A 案を社員総会の第 9 号議案とすることについて承認

A 案：9 名賛成(山内常務、坂井常務、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、森田理事、高橋理事)、B 案：6 名賛成 (森田会長、木村副会長、三井副会長、森野理事、菊池理事、正村理事)

第 4 号議題 第 14 回定時社員総会について

原案通り承認

賛成 15 名 (森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 5 号議題 IARU の改革案に対する当連盟の意見について

原案通り承認

賛成 15 名 (森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 6 号議題 「専務理事」を含む規程類の改正について

原案通り承認

賛成 15 名 (森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 7 号議題 コンテスト委員会からの答申について

議題として扱わず決議等は行わず、森田会長がコンテスト委員長に事情を聴取

第 8 号議題 JARL 会員判定 API の開発について

原案通り承認

賛成 15 名 (森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理

事、森野理事、菊池理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 9 号議題 高尾義則氏の回答の件

議題としては扱わないと説明。出席者から異論なし。

(2) 第 81 回理事会

開催日 令和 7 年 7 月 14 日

場 所 当連盟 本部会議室および Web 会議

出席理事 森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事

議 題

第 1 号議題 情報漏洩について

各理事に確認し、執行部（会長・副会長・常務理事・監事）に一任とする

(3) 第 82 回理事会

開催日 令和 7 年 9 月 27 日、28 日

場 所 当連盟 本部会議室および Web 会議

出席理事 森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事

森野理事は 28 日欠席、中村理事は機器の接続の問題で 27 日欠席

議 題 (※27 日に第 1 号、第 5 号を、28 日に第 2 号～第 4 号を審議)

第 1 号議題 国際交流ボランティアの任務について

原案を一部修正して承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

(中村理事は機器の通信の問題で当該決議には参加しなかった)

第 2 号議題 QSL ビューローについて

原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 3 号議題 コンテスト委員会からの答申について

原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 4 号議題 周波数委員会からの答申について

原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 5 号議題 就業規程の改正について

原案を一部修正して承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

(中村理事は機器の通信の問題で当該決議には参加しなかった)

(4) 第 83 回理事会

開催日 令和 7 年 11 月 22 日、23 日

場 所 当連盟 本部会議室および Web 会議

出席理事 森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事

坂井常務は 22 日欠席、23 日 ZOOM 出席、菊池理事は 22 日、23 日 ZOOM 出席、中村理事は 22 日会議室、23 日 ZOOM 出席

議 題

第 1 号議題 令和 8 年度地方本部費の配分について

原案通り承認

賛成 13 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対 1 名 (森野理事)

第 2 号議題 令和 8 年度連盟行事予定について

第 9 号議題 海外イベントへの JARL ブースの出展について ※第 2 号と併せて審議

原案を一部修正して承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 3 号議題 Q S L ビューローについて

原案を一部修正して承認

賛成 13 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対 1 名 (松田理事)

第 4 号議題 令和 8・9 年度の推薦理事・監事の人数について

原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 5 号議題 電子投票(WEB 投票)導入にともなう選挙規程の一部改正について

原案通り承認

賛成 11 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対 3 名 (森野理事、菊池理事、中村理事)

第 6 号議題 「覚書事項」の改正について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 7 号議題 連盟表彰について

1. 「大阪・関西万博記念局運営者の連盟表彰」

原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

(田中理事は、利害関係者となるため決議には参加しなかった)

2. 「人命救助に対する連盟表彰」

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 8 号議題 JARL 版電子 QSL システムの今後の計画について

否決

賛成 3 名 (安孫子理事、松田理事、中村理事)、反対 12 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、田中理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 10 号議題 2027 年国際園芸博覧会記念局実行委員会の設置について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 11 号議題 事務局職員就業規則に関連する規定の件

理事会冒頭、事務局が修正案を作成し理事会の決議を経て報告する旨説明

(5) 第 84 回理事会

開催日 令和 8 年 2 月 21 日、22 日

場 所 当連盟 本部会議室および Web 会議

出席理事 森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事

菊池理事は 21 日会議室、22 日 Zoom 出席

中村理事は 21 日会議室、22 日 Zoom 出席

議 題

第 1 号議題 令和 7 年度補正予算について

原案通り承認

賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対 1 名 (中村理事)

第 2 号議題 キャンペーンについて

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

第 3 号議題 JARL NEWS の新編成について

原案通り承認

賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理

- 事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)
- 第 4 号議題 令和 8 年度事業計画案について
原案を一部修正して承認
賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)
- 第 5 号議題 令和 8 年度収支予算案について
原案通り承認
賛成 13 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対 2 名(菊池理事、中村理事)
- 第 6 号議題 令和 8 年度特別記念局開設について
原案通り承認
賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)
- 第 7 号議題 第 15 回定時社員総会の開催について
原案通り承認
賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)
- 第 8 号議題 コンテスト規程について ※第 1 号議案の前に審議
「JARL World Wide RTTY コンテスト」：原案通り承認
賛成 14 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)、反対 1 名(松田理事)
「100 周年記念アクティビティコンテスト」及び「ニューカマー & HAMtte ウェルカム QSO パーティ」：原案通り承認
賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)
- 第 9 号議題 アワード規程について
原案通り承認
賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)
- 第 10 号議題 1200MHz 帯レピータ局の公募再開について
原案通り承認
賛成 15 名(森田会長、木村副会長、三井副会長、山内常務理事、坂井常務理事、森野理事、大矢理事、菊池理事、安孫子理事、田中理事、松田理事、中村理事、正村理事、森田理事、高橋理事)

以上

令和8年5月14日

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

令和7年度 委員会報告

連盟の各委員会について、別紙のとおり令和7年度の委員会開催及び検討状況等についてご報告いたします。

委員会名	委員長	担当課
1. 国際問題検討委員会	JE1MUI 遠藤 静夫	国際課
2. 組織強靱化・コンプライアンス委員会	7K1BIB 山内 貴博	総務課
3. 体験運用推進・ニューカマー支援委員会	JR3QHQ 田中 透	会員課
4. Q S L問題対策委員会	JH3GXF 安孫子 達	会員課
5. アマチュア無線フェスティバル実行委員会	JG1DKJ 澤田 倉吉	会員課
6. A R D F 委員会	JF0JYR 高橋 哲也	会員課
7. アワード委員会	JR1DTN 佐藤 哲	会員課
8. コンテスト委員会	JR1LQK 土屋 勝	会員課
9. 電磁環境委員会	J01VVT 幸島 徹	会員課
10. 周波数委員会	JR1KHM 小谷 元史	会員課
11. ワイヤレスネットワーク委員会	JH1BSJ 芝山 仁	会員課
12. D－S T A R 委員会	7M3TJZ 安田 聖	会員課
13. 大阪・関西万博記念局実行委員会	JR3QHQ 田中 透	会員課
14. 100周年記念事業ワーキンググループ	JA5SUD 森田 耕司	総務課
15. 2027年国際園芸博覧会記念局実行委員会	JF1NEF 森野 富士彦	会員課

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

国際問題検討委員会・令和7年度委員会報告

国際問題検討委員会
委員長 遠藤 静夫

当委員会の令和7年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

1. 令和7年4月25日（金）、Zoomによるオンライン会議で開催

参加者：JE1MUI（委員長）、JA1BJI、JH1NBN、JK1MZT、JH6RTO、JA9AMR、

審議事項：IARU再編協議文書への対応案に関する理事会への上申案の検討、他

- (1) IARU再編の検討に至る経緯、
- (2) IARU再編協議文書の概要及び背景、
- (3) IARU再編協議文書への質問及び意見（案）の審議、
- (4) IARUへの返答案のJARL理事会への上申について、
- (5) 2025年の国際会議の予定、
- (6) その他

・審議結果： 会議で出された意見を事務局がとりまとめ、「IARUへの質問及び意見」と「JARL理事会への上申案」を作成し、当委員会メンバーにメールで確認する。（5月7日に取りまとめ完了）

審議結果については、事務局から5月8日開催のJARL理事懇談会に報告した。

「IARUへの質問及び意見」は、会長名の文書として5月11日にIARU事務局に送付した。

2. 令和7年7月3日（木）～7日（月）

メール協議： ドイツ・ハムレディオの機会にIARU主要4連盟（ARRL, JARL, DARC, RASGB）で取りまとめたIARU再編に関する意見書の検討

参加者：JE1MUI（委員長）、7K1BIB

協議結果： 意見書の内容に賛同するが、JARLの署名者は会長とすることをARRLに連絡した。

3. 令和7年7月23日（水）～8月2日（土）

メール協議： AST Mobile社が周回衛星に対する非常バックアップ用管制周波数として

430 MHz 帯アマチュアバンド内の周波数の使用を米国 FCC に申請し、FCC が意見募集を行った。これに対して、提出意見の作成検討を行った。なお、IARU の方針で意見提出は米国 ARRL を通すこととした。

参加者：JE1MUI（委員長）、7K1BIB、JH1NBN

協議結果： 取りまとめた JARL の意見書は、会長の下承を得たうえで、8 月 2 日に山内常務から ARRL の法務担当に送付した。

4. 次年度以降の国際問題検討委員会継続理由

2027 年世界無線通信会議（WRC27）に向けてアマチュア無線に影響がある課題があり、ITU-R 及び APT の準備会合 APG27 での審議への JARL の対応方針等の審議が必要である。また、IARU の組織改編提案への JARL 対応方針等及び ARISS 年次総会への JARL 対応についても審議が必要である。

以上

令和 8（2026）年 5 月 13 日

一般社団法人日本アマチュア無線連盟

会長 JA5SUD 森田耕司 殿

組織強靱化・コンプライアンス委員会

委員長 7K1BIB 山内貴博

組織強靱化・コンプライアンス委員会

令和 7 年度委員会報告

当委員会の令和 7 年度における活動につき次のとおり報告いたします。

1. 諮問事項（令和 6（2024）年 7 月 27 日開催の第 74 回理事会決議）

一般社団法人発足後 10 年以上を経過して露呈した組織的な問題点（組織構造、選挙制度、コンプライアンス遵守体制、財政問題等）を分析し、組織の強靱化のための総合的な改革案を検討し、2025 年 6 月の定時社員総会への提案を目指し、2025 年初頭を目処に理事会に対し答申されたい。

令和 7 年度に新たに受けた諮問事項はありませんでした。

2. 成果

（1）組織強靱化のための制度改革検討報告書（最終報告）の提出

令和 7（2025）年 5 月 16 日に、組織強靱化のための制度改革検討報告書（最終報告）と、定款・規則改正案を会長宛提出致しました。同報告書は、以下の提案事項を含むものです。

- （1）社員総会について
- （2）理事会について
- （3）社員総会・理事会の開催費用について
- （4）役職者の交代時期について
- （5）役職者の年齢制限・重任制限について
- （6）選挙制度について
- （7）表彰制度について

3. 委員会の開催状況

委員会は、オンラインにて下記の会議・意見交換を行ったほか、逐次、Discord 上で議論を行いました。

・令和7（2025）年

- 4月1日 第8回 アンケート結果を踏まえた意見交換
- 4月21日 アンケート結果の関係者への公表（73名から意見）
- 4月30日 最終報告書（案）の検討（Discord 上にて）
- 5月2日 オンライン説明会・意見交換会第1回（社員・役員）
- 5月4日 オンライン説明会・意見交換会第2回（社員・役員）
- 5月8日 役員懇談会（役員のみ）
- 5月16日 最終報告書確定（第9回・Discord 上）
- （5月24日 第80回理事会（最終報告書及び定款・規則改正案について
審議））
- （6月22日 第14回定時社員総会（定款・規則改正案について審議））
- 7月3日 第14回定時社員総会の結果を受けた意見交換

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

体験運用推進・ニューカマー支援委員会・令和7年度委員会報告

体験運用推進・ニューカマー支援委員会
委員長 田中 透

当委員会の令和7年度における開催状況及び検討内容等について、以下のとおりご報告いたします。

第8回 令和7年5月29日(木) オンライン会議

- 議 題
- ・ハムフェアでの体験運用について
 - ・今後の委員会の方向性について
 - ・その他決定事項

決定事項

- ・ハムフェアにおける8J1HAMでの体験運用実施について、ハムフェア実行委員会に対し要請を行うこととした。
- ・8J1HAM側の対応が困難な場合には、当委員会が体験運用のバックアップを行うこととした。
- ・JA1RLでの体験運用については、昨年同様の体制で実施することとした。
- ・今後の委員会活動方針として、支部との連携強化、50MHz帯の活用促進、広報資料の充実等を柱とする方向性を整理し、理事会への答申として取りまとめることとした。
- ・体験運用から免許取得・開局までの導線を示した新たなパンフレットについて、委員作成案を基に検討を進めることとした。

継続事項

- ・体験運用の実施体制のあり方について、ハムフェアを含め引き続き検討する。
- ・アマチュア無線の裾野拡大に向けた具体的施策（支部活動の活性化、入門バンドの検討等）について継続検討する。

第9回 令和8年1月22日(木) オンライン会議

- 議 題
- ・今後の委員会活動について
 - ・その他決定事項

決定事項

- ・アマチュア無線の裾野拡大及び青少年育成施策について、検討を進めることとした。

継続事項

- ・青少年の免許取得から開局・継続運用に至るまでの支援スキームについて引き続き検討する。
- ・学校クラブ活動の環境変化（地域移行等）を踏まえた支援のあり方について検討する。
- ・支部・教育委員会・関係団体（JARD、ボーイスカウト等）との連携体制について検討を継続する。

第10回 令和8年2月25日(水) オンライン会議

議 題

- ・体験運用の周知およびマニュアル・Web 導線の改善について
- ・学校クラブ支援および地域活動への展開について
- ・青少年の免許取得および開局支援について

決定事項

- ・体験運用マニュアルの冒頭に、「体験運用は許可不要であり、誰でもいつでも実施可能」である旨を明記することを決定。
- ・体験運用ページの Web 導線について、より分かりやすい構成となるよう、関係部署へ改善要望を行うこととした。
- ・体験運用に関する誤解や個別の疑問に対応するため、Q&A 形式による整理ページの新設（またはマニュアル内整理）を検討する。
- ・体験運用の実施イメージを分かりやすく伝えるため、実演や動画(YouTube 等)を活用した周知方法について検討を進めることとした。
- ・学校クラブ支援については、既存クラブ支援を起点とし、段階的に展開していく方向性を確認した。
- ・学校部活動の地域移行を踏まえ、教育委員会や自治体、科学館等の地域機関との連携を視野に入れた検討を進める。
- ・支部主体による実施体制および人材確保の重要性を踏まえ、持続可能な運営モデルの構築について引き続き検討する。
- ・免許取得後の定着を促進するため、ニューカマー向けセミナーの実施やクラブ局を活用した運用機会の提供等、フォローアップ施策の重要性を確認した。

継続事項

- ・体験運用に関する誤解の解消および分かりやすい情報発信のため、マニュアルおよび Web ページの改善を進める。

- ・体験運用の普及促進のため、動画等を活用した周知手法の整備を検討する。
- ・学校クラブ支援について、地域移行の動向を踏まえた持続可能な活動モデルの構築を検討する。
- ・青少年の免許取得から開局・定着までの一貫した支援体制の整備について検討を進める。

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

QSL 問題対策委員会・令和7年度委員会報告

QSL 問題対策委員会
委員長 安孫子 達

当委員会の令和7年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

【I】今年度の委員会開催状況

●第13回 令和7年5月21日(水) オンライン開催
(議 題)

①ビューローの処理実績の検証について

②電子 QSL の実証実験について

(決定事項・継続する事項等)

ビューローの処理実績の検証、電子 QSL の仕様に関して意見交換を行った。今後、委員会内で実証実験を行いながら、システムの仕様をまとめていくこととした。

●第14回 令和7年6月19日(木) オンライン開催
(議 題)

①理事会への文書提出の結果報告について

②電子 QSL 実証検証の進め方について

③QSL を受領しない局リストの問題点と対策について

(決定事項・継続する事項等)

電子 QSL の開発の進捗報告、システムの仕様に関して意見交換を行った。実際にデモを行い、アカウント作成、電子 QSL 送受信テスト等を実行し、動作を確認した。また、開発に関わる費用について、今後 JARL 負担とすることについて検討がなされた。

●第15回 令和7年7月24日(木) オンライン開催
(議 題)

①電子 QSL の検証及び意見交換について

②ハムフェアでの委員会相談コーナー対応について

(決定事項・継続する事項等)

電子 QSL の開発の進捗報告、システムの仕様に関して意見交換を行った。11 月の理事会承認に向けて、10 月までに委員外の人員を含めたテストを実施する方向で検討がなされた。

●第16回 令和7年8月28日(木) オンライン開催
(議 題)

- ①電子 QSL 試験運用について
- ②今後のスケジュール確認について
- ③ハムフェアでのPR結果の考察について

(決定事項・継続する事項等)

電子 QSL の開発の進捗報告、システムの仕様に関して意見交換を行った。9 月中旬から委員外から人材を選出し試験運用することが決定された。

●第17回 令和7年10月2日(木) オンライン開催
(議 題)

- ①実証試験の考察と次への展開について
- ②その他

(決定事項・継続する事項等)

実証試験を行ったが、集めたテスターがうまく稼働していない状況が確認されたため、テスターに対し、システムに関与するよう促していくことが決定された。その他、システムの仕様に関して意見交換を行った。

●第18回 令和7年10月30日(木) オンライン開催
(議 題)

- ①電子 QSL 実証試験の経過報告について
- ②電子 QSL の今後のスケジュールについて
- ③その他

(決定事項・継続する事項等)

テスターに対して電子 QSL のアンケートを実施することが決定された。また、次年度の予算や会員認証 API 等、次回理事会の議題について検討がなされた

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

アマチュア無線フェスティバル実行委員会・令和7年度委員会報告

アマチュア無線フェスティバル実行委員会
委員長 澤田 倉吉

当委員会の令和7年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

第3回 令和7年5月31日

議題 ・準備状況と今後のスケジュール

- ・出展団体の審査
- ・会場使用計画
- ・イベントコーナーの演目について
- ・工作教室の教材
- ・特別記念局運用計画催事
- ・「出展の手引き」について
- ・その他

決定した事項・継続する事項等

- ・準備状況と今後のスケジュール

Web での出展者向け説明や開催方法を検討を行い、オンラインまたは録画での説明を7月中旬までに行うこととし、詳細は hamfair.jp で案内することとした。

- ・出展団体の審査

各団体の出展審査を行い、代表者・連絡者とも非会員の場合は一般価格、いずれかが会員であれば会員価格の出展料とし、出展申込期間に会員であれば会員価格で対応することとした。

- ・会場使用計画

出展団体は数 196 団体・324 小間となり、会場図にブースの配置を行う。6 月中にまとめて、実行委員会の承認を受けた後に、出展団体の出展内容とともに公開することとした。

- ・イベントコーナーの演目について

「メインステージ」演目にて、例年行っている表彰式等の他に今回は初日の 10 時 10 分より開会セレモニーを行うこととした。確定した後、hamfair.jp で案内する。また、「サテライトステージ」については、hamfair.jp にて 6 月上旬から募集を行い、7 月中旬に講演者を確定する。

- ・工作教室の教材

FM モノラルラジオ 100 個、モールス練習機 50 個の教材を依頼し、「東芝アマチュア無線クラブ」の協力により、工作教室内で教材製作についての説明を行うスペースを準備することとなった。

- ・特別記念局運用計画催事

7 月 1 日午後 1 時から JARL 本部にて開局式を行う。

各支部での運用スケジュールについて、水曜日を移動日とし、下記の通りで行うこととした。

7/3-7/8 神奈川県支部 7/10-7/15 山梨県支部 7/17-7/22 群馬県支部

7/24-7/29 千葉県支部 7/31-8/5 茨城県支部 8/7-8/12 栃木県支部

8/14-8/19 埼玉県支部 8/21-8/23 東京都支部

* 公開体験運用は、7/5、7/13、7/20 に行う。開催期間中担当支部(群馬・山梨・東京)

また、リモート運用固定局については、都内4箇所設置を予定していると、委員長より説明があった。諸々、詳細については、担当支部等で打ち合わせを行うこととなった。

・「出展の手引き」について

今回、変更となる箇所について確認を行った。

また、全体の内容についての修正点があれば6月中旬あたりまでMLでの連絡により対応し、予定の期日に公開する。

・その他「プレス」受付は、事前申込制とし、hamfair.jpにて申込書のダウンロードが出来るように対応する。7月末までの受付とし、「プレス」証は8月に発送する。

第4回 令和7年7月1日

議題 ・会場図・出展団体配置について

・その他

決定した事項・継続する事項等

・会場図・出展団体配置について

会場レイアウトについての説明が行われ、検討した結果、いくつかのブースの入れ替えやEエリアの職域・防災の小間のバランスの調整を行い、最終の小間図作成を進める。

・その他 出展小間配置案内や入場チケット販売開始については、7月上旬公開を目標に準備を進める。出展者向けWeb説明は、7月中旬公開を目標に準備を進める。ブース撮影禁止等表示は、hamfair.jpにピクトグラムを公開してPRする。サテライトステージ登壇情報として、初日は11名、2日目は9名の登壇を決定した。

協力ボランティアチームとして、「メインステージチーム」「サテライトステージチーム」「広報チーム」「特別記念局サポートチーム」「体験運用サポートチーム」「ビギナー案内等全体運営サポートチーム」のほか、「国際交流ボランティア」の協力をいただくことが了承された。

「teket」で購入した場合は、理由にかかわらず返金は行わないこととし、入場券購入案内にも、間違えて購入しないよう案内を行うこととした。会期中の自衛消防団組織図については、実行委員会で構成し、協力いただくよう依頼があった。会期中の館内巡回については、副支部長に協力をお願いする。

来場者へのお願いについては、会場マップに掲載し、来場者にPRをする。

hamfair記念局で移動する局と移動しない局が同日に運用する場合は事前に運用調整を行うことを確認した。

第1回 令和7年10月11日

議題 ・hamfair 2025 実施報告

・hamfair 2026 基本構想

・その他

決定事項・継続事項等

・ハムフェア 2025 開催結果報告

出展数が 197 団体・326 小間、前年よりも 12 団体、22 小間増加した。

今年より、QR コードによる入場や「ハムフェア.jp」による詳細な案内を行うことで、スムーズな開催となった。

・ハムフェア 2025 収支報告

入場券、出展者分担金とも、当初の予算額よりも増加した。

・ハムフェア 2026 開催概要、キャッチフレーズ

100 周年記念と連携することとなるため、JARL NEWS 冬号には「開催案内」として 開催日程を掲載することとなった。

・ハムフェア 2026 収支予算

収入は 2025 年の決算額を元に作成し、支出については現状の諸物価高騰、人件費等の高騰が見込まれるため、約2割の増額での試算した予算とすることとした。

・その他 今後は、100 周年記念事業ワーキンググループと連携したイベントを検討していくこととなる。

第 2 回 令和 8 年 1 月 24 日

議題 ・メインビジュアル並びに関連業者の選定について

・出展案内について

・会場使用計画について

・第 3 回実行委員会開催日程ほか

・その他:キャッチフレーズ「JARL 創立 100 周年～好奇心のアンテナをたてよう～」

決定事項・継続事項等

・JARL 創立 100 周年をイメージした 3 点のデザインから協議の結果 1 点を決定した。

・印刷・運営派遣・小間造作・電気工事・警備・清掃の業者については、見積の提出のあった業者の費用面等からそれぞれの業者を選定した。

・出展案内、検討事項リスト、新しい出展プラン、出展の手引きについて検討を行った。

・業者からの見積が人件費や物価高騰により前年と比べ上昇しているため、設営や撤去作業を考慮しての出展小間タイプの見直しをし、出展料の改定と、新たに個人が出展参加できるプランを追加した。

・会場使用計画では、サテライトステージの会場会議室の活用やジャンク関係展示通路の拡幅などの人混み対策、100 周年関連展示等継続検討とした。

・次回第 3 回実行委員会を 5 月 30 日(土)14 時から行う。7 月 1 日からの特別記念局の各支部持ち回り運用日程を決めた。

・その他 集客対策企画案やメインステージプログラム案等継続検討となった。

以上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

ARDF 委員会・令和 7 年度委員会報告

ARDF 委員会
委員長 高橋 哲也

令和 7 年度の ARDF 委員会の開催はありませんでしたが、メーリングリストでの活動を次のとおりご報告いたします。

1. ARDF 競技大会の開催

地方・支部・公認 ARDF 競技大会開催者より、開催申出が連盟事務局に提出され、ARDF 委員会で審議のうえ、開催することを承認した。

開催状況は別紙のとおり。

2. ARDF 審判員講習会の開催

地方・支部 ARDF 審判員講習会開催者より、開催申出が連盟事務局に提出され、ARDF 委員会で審議のうえ、開催することを承認した。

開催状況は別紙のとおり。

3. 第 12 回 IARU Region 3 ARDF 選手権大会

2025 年 11 月 9 日から 14 日まで滋賀県竜王町で第 12 回 IARU Region 3 ARDF 選手権大会開催に伴い、ARDF 委員会では 2025 全日本 ARDF 競技大会成績優秀者から JARL 選抜選手の選考をおこなった。

4. 2025 全日本 ARDF 競技大会

2025 全日本 ARDF 競技大会実行委員会より同競技大会の参加受付開始に伴い、JARL Web の ARDF ページにも参加受付掲載の依頼があったので、ARDF 委員会では了承した。

以上

2025地方ARDF競技大会開催状況

地方本部	開催日	開催場所
関東	令和7年11月30日	茨城県水戸市 水戸市森林公園
東海	令和7年11月9日	岐阜県関市 岐阜県百年公園
関西	令和7年11月3日	大阪府堺市北区金岡町128 大泉緑地
中国	令和7年10月26日	岡山県真庭市 蒜山高原
四国	令和7年5月25日	愛媛県新居浜市滝の宮町（滝の宮公園）
信越	令和7年5月25日	新潟県五泉市

2025支部ARDF競技大会開催状況

支部	開催日	開催場所
茨城県	令和7年11月29日	茨城県水戸市 水戸市森林公園
静岡県	令和7年12月14日	静岡県掛川市 高天神城址周辺
香川県	令和7年10月5日	香川県綾川町 綾川総合運動公園 近郊
新潟県	令和7年5月24日	新潟県五泉市

2025公認ARDF競技大会開催状況

県名	開催日	開催場所
茨城県	令和7年6月17日	笠松運動公園
茨城県	令和7年11月18日	八郷総合運動公園
栃木県	令和7年4月19日	栃木県那須烏山市三箇県民休養公園
群馬県	令和7年5月10・11日	群馬県富岡市
静岡県	令和7年6月21・22日	静岡県富士市 勢子辻
愛知県	令和7年12月14日	愛知県豊田市 岩屋緑地公園
広島県	令和8年3月22日	広島県呉市野呂山
香川県	令和8年1月25日	香川県さぬき市
秋田県	令和7年8月3日	秋田県仙北郡美郷町千屋字大台野 美郷町ラベンダー園周辺
長野県	令和7年4月12日	長野県東筑摩郡 筑北村役場周辺

2025ARDF審判員講習会開催状況

県名	開催日	開催場所
岐阜県	令和7年7月12日	岐阜県岐阜市 岐阜市北東部コミュニティセンター
岡山県	令和7年4月19日	岡山県倉敷市 玉島市民交流センター
岡山県	令和7年6月8日	岡山県倉敷市 玉島市民交流センター
岡山県	令和8年1月25日	岡山県倉敷市 玉島市民交流センター
香川県	令和7年8月3日	香川県高松市 香川県青年センター
北海道	令和8年2月22日	北海道札幌市 北海道情報大学札幌サテライト
石川県	令和8年3月15日	石川県金沢市 金沢市こなん水辺公園

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

アワード委員会・令和7年度委員会報告

アワード委員会
委員長 佐藤 哲

当委員会の令和7年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

第1回 令和7年11月16日

- 議題 ・ アワード発行状況報告 2025年4月～10月の発行状況報告を行った。
(アワード：385枚・ステッカー：154枚)
全日本・全世界アワードについての累計発行数を報告した。
(全日本：全日本：53件 全世界：41件)
- ・ アマチュア無線・JARL100周年記念アワードについて
「JARL 創立100周年記念アワード」規約について協議し、アワードの種類や通常の特記表示以外も追加する方向で検討した。また、表示できる文字数については、特記を決定する際に再度検討することとした。
- ・ 一万局アワードのルール細部検討について
MLでも報告した「南鳥島」のゾーンの問い合わせについて協議し、「よみうりアワード」の継承アワードとして、従来の申請を引き継いでいること、申請書のITUゾーンリストは「1～75」までであることから、「90」のゾーンの受付はないことを説明することとなった。
また、わかりにくい表現等についてもあわせて検討し、一部規約改正の方向で協議した。
- ・ 年間AJAの集計
このアワードは、アワード委員会にて審査を行うので、2026年4月からの受付となる申請はまとめておき、2026年5月31日に委員会を開催し、審査を行うこととした。
- ・ その他
最近、海外局からの問い合わせも増えていることや、「ハムベンション」においてもQSLカードにJCC番号等がなく、申請が難しいなどと相談があったことから、QSLカードの書き方の案内で、海外局あてに発行する際にはJCC番号等も記入との案内が出来ればよいとの意見があった。

以上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟

会 長 森田 耕司 殿

コンテスト委員会・令和7年度委員会報告

コンテスト委員会

委員長 土屋 勝

当委員会の令和7年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

第1回 令和7年9月9日～令和7年9月10日(文書委員会)

議題 QSO パーティ規約改正について

決定事項 QSO パーティ規約改正答申案を理事会へ提出する

第2回 令和7年11月10日～令和7年11月11日(文書委員会)

議題 ALL ASIAN DX コンテスト ドナー制度についての報告案

決議内容 ALL ASIAN DX コンテストにドナー制度を導入することを別紙の通り報告する。

決議方法 最終案をメールにて提示し、委員会全員の意見を確認したところ、いずれの委員からも異議無く了承された。よって、当該答申案は全会一致により可決された。

第3回 令和8年3月15日

議題 1. コンテスト審査基準の明確化および体制見直し

2. JARL World Wide RTTY コンテストの開催準備

3. コンテスト規約および運用ルールの継続検討

4. JARL 100 周年記念事業への対応

5. その他

決定事項・継続事項等

1. 審査基準の改定ならび審査体制の強化

- ・送信・受信ナンバーの未記入は「減点」、救済措置は行わない。
- ・主要ロギングソフトウェアの開発者に対し、未記入時に警告を出す仕様への変更を依頼する。
- ・迅速な結果発表実現のため、各コンテストに「Director」を配置し、進行管理を徹底する。
- ・審査基準の決定権限は本委員会に帰属することを確認した。

2. 規約の最終調整

- ・RTTY 運用の啓蒙・参加者拡大のため、「クラブ対抗」の対象とした。
- ・入賞基準は、参加局数に関わらず各部門1位とする。

- ・4月より国内外のメディア・海外連盟へ告知を開始する。
- ・デイトン・ハムベンションやドイツ・HAM RADIO、国内ハムフェアで積極的なPR活動を行う。

3. 2027年以降の検討事項

- ・「6時間参加部門」設置、電話部門の種目構成見直し、シルバー部門の廃止や「YOUTH オーバレイ」の新設等を継続協議する。
- ・フィールドデーコンテストにおける「熱中症対策」として、ステーション種別の定義見直しを検討する。

個人情報取り扱い

- ・2027年より、マルチオペ部門入賞のオペレータ名公開への同意チェックを必須化する。
(2026年は啓蒙期間とする)。
- ・紙ログの電子化作業をクラウド経由で効率化し、審査データは個人情報(住所、電話番号等)を除外し配信の体制を整える。

4. 100周年記念楯の贈呈

- ・2026年度・2027年度開催の主要7コンテスト(ALL JA、6D、FD、全市全郡、RTTY、AADX 電信・電話)を対象とする。
- ・対象期間の整合性については、100周年記念WGと最終調整を行う。
- ・記念賞状・参加証は、デザイナーの制作検討、3月末までに実施可否を確認する。

5. QSOパーティ:電子ログ提出(2,343局)を確認。4巡達成局の継続参加を促すため「5巡楯」の新設を決定し、JARL NEWS 秋号で告知する。原材料費高騰に伴い、4月より各種楯の価格改定(値上げ)を検討する。問い合わせ対応の迅速化のため、FAQメーリングリストによる情報共有、Web公開前のダブルチェック体制を確立する。

● コンテスト委員会審査分科会

令和7年6月29日

議題 第67回 ALL JA コンテスト審査会

令和7年9月14日

議題 第55回6m AND DOWN コンテスト審査会

令和7年10月18日

議題 第68回フィールドデーコンテスト審査会

令和7年12月20日

議題 第46回全市全郡コンテスト審査会

● コンテスト委員会電子ログ分科会

- ・審査会開催にあわせて、提出データ精査・集計を行う。

令和8年4月14日

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 殿

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
電磁環境委員会委員長 幸島 徹

令和7年度 電磁環境委員会の活動状況について（中間報告）

令和7年度の電磁環境委員会の活動状況について次のとおりご報告いたします。

1. 令和7年度に開催した委員会に開催状況

委員会の開催はありませんが、メール等を活用しての意見交換を行っている。

2. 総務省の作業班等への対応について

当委員会では、現在、総務省の作業班やアドホックグループについて次の会議等へ参画し、対応している。なお、開催概要等については、すでに報告しているので割愛することといたします。

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
5.2GHz 帯及び6GHz 帯無線 LAN 作業班
2.4GHz 帯無線 LAN 等の技術基準見直しアドホックグループ
対応：J A 1 O G Z 金子委員
直近の会議：令和5年2月22日

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
短波帯デジタル固定局作業班
対応：J O 1 V V T 幸島
直近の会議：令和5年3月8日(水)

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会
高速電力線搬送通信設備作業班
対応：J O 1 V V T 幸島
直近の会議：最近、休眠状態ではあるが、再開されるとの情報あり

●超広帯域無線システム（7.25～10.25GHz 帯）の屋外利用の
周波数拡大等に向けた技術的条件に関する検討会
対応：JO1VVT 幸島
直近の会議：10GHzのアマチュアバンドが除外されオブザーバー
参加に、しかし引き続き注視の必要はあり

●情報通信審議会 情報通信技術分科会
電波利用環境委員会 ワイヤレス電力伝送作業班
対応：JO1VVT 幸島
直近の会議：令和6年3月27日

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
76GHz帯小電力ミリ波レーダー高度化作業班
対応：JA1OGZ 金子委員
直近の会議：令和8年4月9日

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
小電力システム作業班
対応：JO1VVT 幸島
直近の会議：令和6年8月27日

●情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
小電力システム作業班 TPMS・RKE システムアドホックグループ
対応：JO1VVT 幸島
直近の会議：令和6年3月1日

2. 年度を越えて検討を継続する事項等

前項の作業班やアドホックグループには、年度内で報告書のとりまとめを行い一旦収束するシステム等もありますが、ほとんどのシステムについては、機能の更新や拡張などを行い、短いものでは数ヶ月から長いものでは数年後に、作業班やアドホックグループが再開されることから議論については継続しているものと考えなければならず、長期間で各システムの動向を注視していかなければなりません。

以 上

令和8年4月10日

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 殿

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
周波数委員会委員長 小谷 元史

令和7年度 周波数委員会 活動報告（中間報告）

令和7年度の周波数委員会の活動状況について、以下のとおりご報告いたします。

1. 令和7年度の委員会の開催状況

すでにご報告のとおり令和7年7月17日付、総務省告示「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」の一部改正をふまえて、委員会を開催し、JARL バンドプラン改正案をとりまとめ理事会へ答申を実施した。

2. 年度を越えて検討を継続する事項等について

IARU 第3地域HFドプラン委員会からの7MHz帯バンドプランの改正提案について、引き続き情報収集に努めることとしたい。

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

ワイヤレスネットワーク委員会・令和7年度委員会報告

ワイヤレスネットワーク委員会
委員長 芝山 仁

当委員会の令和7年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおり
ご報告いたします。

第41回 令和7年11月28日(金)～令和7年12月10日(水) 文書Eメール
議 題 ・D-STAR レピータ局開設・増設要望の審査と周波数選定
・アナログ(FM)レピータ局開設・増設要望の審査と周波数選定
・1200MHz 帯レピータ局の公募再開の提案書(案)

決定事項

D-STAR および FM レピータ局開設・増設要望の審議結果

- ・【DVモード／430MHz帯】承認：2波、不承認：1波
- ・【DVモード／10.1GHz帯】承認：1波
- ・【FMモード／430MHz帯】承認：2波

- ・1200MHz 帯レピータ局に関する検討結果について

1. 委員会における検討内容

本委員会では、平成25年2月の理事会決議により見合わせてきた1200MHz
帯レピータ局の公募再開について、以下の観点から検討を行った。

(1) 準天頂衛星「みちびき」との共用

- ・同衛星のL6信号(1278.75MHz)がアマチュアバンドと重複していること
から、干渉の可能性について検討
- ・総務省の技術的検討において、空中線電力1W以下のレピータ局は共用可能
とされていることを確認
- ・平成29年の審査基準改正および令和5年4月までの全局1W化完了によ
り、制度的・技術的条件は整備済み

- ・これまで重大な混信事例は報告されていないことを確認
- ・一方で、衛星監視局周辺における影響については引き続き慎重な配慮が必要と整理

(2) FPU（放送事業用無線局）との共用

- ・FPU はアマチュア無線より優先度の高い業務であるため、従来どおり停波対応が必要
- ・平成 28 年度以降、総務省からの要請に基づき適切に停波対応が実施されていることを確認
- ・運用実績上、大きな支障は発生していないことを確認

(3) これまでの運用実績の評価

- ・全局 1W 化後も大きな干渉問題は発生していない
- ・総務省からも特段の問題指摘はない
- ・再開を望む要望が複数寄せられている状況を確認

2. 委員会としての決定事項

上記検討を踏まえ、本委員会としては、以下の条件を付したうえで 1200MHz 帯レピータ局の公募再開は可能と判断した。

(1) 公募の再開

- ・1200MHz 帯レピータ局の新規公募を再開する
- ・ただし、干渉が発生した場合は速やかに運用停止を行い、対策を講じること
- ・対策後も改善が見られない場合は廃止も含めて対応することを条件とする

(2) 準天頂衛星対策

- ・当面の措置として、衛星監視局周囲 10km 圏内では新規開設を認めない
- ・干渉リスク低減のため、送信周波数 1270MHz 帯を使用する D-STAR DD モードは採用しない
- ・DD モードの要望があった場合は 1290MHz 帯で対応する

(3) FPU 対策

- ・従来どおり、総務省からの要請に基づき必要に応じて停波対応を実施する

(4) 今後の見直し

- ・上記制限は暫定的措置とし、今後の運用状況を踏まえ適宜見直しを行う

3. まとめ

平成 25 年以降見合わせてきた 1200MHz 帯レピータ局の公募については、

技術的条件の整備および運用実績を踏まえ、一定の条件下で再開可能と判断した。

本委員会としては、上記条件を付して公募再開を行うことが妥当と結論付け、第 84 回理事会に公募再開の提案書を提出し、第 10 号議題として承認いただきました。

第 42 回 令和 8 年 3 月 16 日(月)～令和 8 年 3 月 23 日(月) 文書 E メール
議 題 ・D-STAR レピータ局開設・増設要望の審査と周波数選定
・アナログ(FM)レピータ局開設・増設要望の審査と周波数選定

決定事項

D-STAR および FM レピータ局開設・増設要望の審議結果

- ・【DV モード／430MHz 帯】承認：2 波
- ・【DV モード／10.1GHz 帯】承認：1 波
- ・【FM モード／430MHz 帯】承認：0 波、不承認：1 波

継続事項

「レピータ局（デジタル方式）での D-STAR 以外の通信方式について」に関して、継続して検討しているが、諸課題の解決のため引き続き D-STAR 委員会等と連携のうえ、検討を進める。

令和 7 年度通年処理件数

- ・新規開設等：1 件
- ・移設等：9 件
- ・代表者、緊急連絡者等変更：29 件
- ・機器取替等：22 件

※ 代表者、緊急連絡者等変更以外は各総合通信局へ申請・届出を伴う処理です。

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

D－S T A R 委員会・令和 7 年度委員会報告

D－S T A R 委員会
委員長 安田 聖

当委員会の令和 7 年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。

D-STAR 委員会・令和 7 年度委員会報告

● 第 11 回 令和 7 年 4 月 15 日（火）事務局会議室

議 題

- ・管理サーバーへのグローバル IP を不要とする接続について
- ・仕様書の改訂について（修正中の dscsd の最終調整を含む）
- ・その他

決定事項

- ・ターミナルモード及びアクセスポイントモードにおける接続安定性向上のため、管理サーバーにおいて各端末の使用ポート情報を管理・応答する方式（拡張アクセス）を導入することとし、仕様書を改訂することとした。
- ・Symmetric NAT 環境への対応は今回見送ることとした。
- ・仕様書について、拡張アクセス及び関連する新仕様を盛り込んだ改正案（7.0 版）に改訂することとした。
- ・通話中の割り込みによる通信断の問題については、xchange の改修により解消したことを確認した。

継続事項

- ・高度な NAT 環境（ホテル Wi-Fi 等）における接続安定性の検証を継続する。
- ・レピータ局の接続制限撤廃後の適切な接続方法について引き続き検討する。

参考事項

管理サーバーの死活監視機能について、GUI による監視及び再起動機能の整備を進めている。

また、管理サーバーに対する過負荷事案を踏まえ、接続ルール遵守の重要性について認識を共有した。

なお、委員会運営の円滑化を図るため、メーリングリストを新設した。

● 仕様書の改訂

上記の決定に基づき、D-STAR 仕様書を Ver7.0 に改訂し、令和 7 年 6 月 2 日公開した。

● 管理サーバー、ゲートウェイサーバー等のアップデート作業

・上記、第 11 回会議の決定に基づき、令和 7 年 8 月までに管理サーバーやゲートウェイソフトのアップデート等を行った。

・管理サーバーのアップデート完了に伴い、管理団体に通知をし令和 7 年末にかけ、ゲートウェイサーバーの D-STAR ソフトのアップデートを行った。約 100 局については、各委員が手分けしリモートで実施した。

・ゲートウェイサーバーの OS が CentOS の局については、前記新システムに対応できないため、OS のアップデートを管理団体へ働きかけている。

● 緊急のパケットフィルタリング対策の実施

令和 7 年 11 月頃から主にロシアからのパスワードを探ろうと思われるポートアタックが急増した。そのため、管理サーバーは従来から対策を行っていたが、各ゲートウェイサーバーにもセキュリティー対策上、対応が必要と判断し、令和 8 年 1 月に緊急対策として IP フィルターの設定を行い、2 月には nftables の設定を各管理団体に通知すると共に、約 140 局を委員長、委員で手分けしリモートで実施した。

以上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

大阪・関西万博記念局実行委員会・令和7年度委員会報告

大阪・関西万博記念局実行委員会
委員長 田中 透

令和7年度の大阪・関西万博記念局実行委員会の開催はありませんでしたが、常にMLにて情報を共有し委員の意見を聞いて委員会を進めてまいりました。

令和6年度は令和7年4月13日から同年10月13日までの間に、大阪府大阪市此花区の夢洲を会場に2025年日本国際博覧会開催に備え、大阪・関西万博記念局実行委員会を構成し、特別記念局の設置や運用について同博覧会の主催者である公益社団法人2025年日本国際博覧会協会同協会とやり取りを行い、一般社団法人日本アマチュア無線連盟（JARL）は正式に役務提供の契約を締結しました。

役務提供の契約を締結したことにより、JARLは近畿総合通信局に同特別記念局の免許申請書を提出しましたので、令和7年度の委員会の活動をご報告します。

同博覧会開催が近づき、委員会では特別記念局運営を成功させるため、運用ブースに来訪される一般の方（海外からの訪問者を含む。）がアマチュア無線の楽しさや興味を持っていただくために十分に打ち合わせを行いました。

同特別記念局の免許が同通信局から予定どおり許可され、同博覧会開催期間中はアマチュア無線のPR運用、体験運用、公開運用、ARISSスクールコンタクトで宇宙飛行士と交信や南極・昭和基地（8J1RL）との交信イベント等を精力的に行いました。

同特別記念局を開設したことで、国内外のアマチュア無線と実際に交信を通じて、同博覧会開催を記念すること及びその意義を広めることが出来ました。

公開運用・体験運用を通じて、青少年や一般の方々に対して、アマチュア無線に対する理解の増進、アマチュア無線の健全な普及、発展等に寄与するための活動を行うことが出来ました。

同博覧会開催期間中は、延べ約8万局と交信、体験運用が2,600件行いました。

以上

令和 8 年 4 月 25 日

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟

会長 森田 耕司 殿

100 周年記念事業ワーキンググループ

委員長 森田耕司

100 周年記念事業ワーキンググループ報告

当ワーキンググループの令和 7 年度における開催状況及び検討内容等について、次のとおりご報告いたします。(場所の記載が無いミーティングは全てオンラインによるものです)
また、下記全体ミーティングの間に 1～数回程度、記念事業ごとの分科会が開催されています。

(1) 第 2 回ミーティング

- 日時： 令和 7 年 4 月 25 日 20 時～22 時
- 出席： JA5SUD (森田委員長)、JH4PHW (坂井委員)、JA4DND (松浦委員)、JR1LQK (土屋委員)、JR1DTN (佐藤委員)、JG1XLV (荒井委員)、JK1OZS (勝呂委員)
- 議題および決定・報告事項：
 1. WG 内の連絡手段を Discord へ移行することを確認した。
 2. 記念局運用に関して、複数コールサイン発給の感触確認や総務省への要望などを調整した。
 3. コンテスト・アワードについて、初心者が楽しめる方向で全体設計を行う方針を共有した。
 4. ロゴ・キャッチフレーズの商標登録出願を進め、記念サイトと共に公開する予定とした。
 5. 広報活動における正式表記を『JARL 創立 100 周年』『日本におけるアマチュア無線 100 周年』に統一した。

(2) 第 3 回ミーティング

- 日時： 令和 7 年 5 月 16 日 20 時～22 時
- 出席： WG 委員 7 名
- 議題および決定・報告事項：
 1. ロゴの商標登録出願が完了し、記念サイトのティザーサイトと共に 7 月 1 日に公開予定であることが報告された。
 2. クラウドファンディングの委託会社選定中であることが報告された。
 3. 記念式典に向けて有明周辺で会場を探索中であることが共有された。
 4. 記念局・コンテスト・アワードの連携についてフリーディスカッションを実施

施した。

(3) 第4回ミーティング

- ・ 日時： 令和7年5月26日 20時～22時
- ・ 出席： WG委員7名（森田委員長は前半欠席）
- ・ 議題および決定・報告事項：
 1. 5月24日の理事会にて、100周年ロゴ等が承認されたことが報告された。
 2. 記念局運用計画（3サイクル化、月曜スタート等）と移動局の扱いについて議論した。
 3. アワードとコンテストの全体設計は、関係者で調整した後に提案することを確認した。

(4) 第5回ミーティング

- ・ 日時： 令和7年6月24日 20時～22時
- ・ 出席： WG委員7名（新たに7K2COL 大塚委員がクラウドファンディング担当として加入したが当日は欠席）
- ・ 議題および決定・報告事項：
 1. 記念誌の基礎要件（案）が確定した。
 2. 記念式典を「アマチュア100周年式典」とし、2027年夏～秋に変更した。
 3. コンテスト案の継続検討と、記念運用の詳細を詰めるための分科会設置を決定した。

(5) 第6回ミーティング

- ・ 日時： 令和7年7月23日 20時～22時
- ・ 出席： WG委員7名（佐藤委員欠席）
- ・ 議題および決定・報告事項：
 1. 7月1日に記念サイト（ティザー）が公開され、メディア等で取り上げられたことが報告された。
 2. 100周年記念事業の全体スケジュールと各事業の連関図が共有された。
 3. 記念運用について、地方本部長等への説明を11月頃に行う予定であることが確認された。

(6) 第7回ミーティング

- ・ 日時： 令和7年8月5日 20時～22時
- ・ 出席： WG委員8名
- ・ 議題および決定・報告事項：
 1. ハムフェア等でのポスター貼付状況など、広報の展開について報告された。
 2. クラウドファンディング（STEAM教育プロジェクト等）の進捗と、助成元への慎重な対応の必要性が確認された。
 3. コンテスト（アクティビティコンテスト、ニューカマー&カムバック等）の

規約案を議論し、コンテスト委員会で再考することとした。

(7) 第8回ミーティング

- ・ 日時： 令和7年8月18日 20時～22時
- ・ 出席： WG委員7名（佐藤委員欠席）
- ・ 議題および決定・報告事項：
 1. コンテストのアクティビティ向上への寄与やローカルコンテストのウェイト等について、コンテスト委員会で再考することとした。
 2. ニューカマー向け QSO パーティについて、JARD との共催の可能性を探ることで合意した。

(8) 第9回ミーティング（特別会）

- ・ 日時： 令和7年8月23日 13時～14時（ハムフェア会場にて）
- ・ 出席： WG委員8名
- ・ 議題および決定・報告事項：
 1. ハムフェア 2026 および 2027 における企画案のブレインストーミングを実施し、新規層を意識した企画などのアイディアを出し合った。

(9) 第10回ミーティング

- ・ 日時： 令和7年9月5日 20時～22時
- ・ 出席： WG委員8名
- ・ 議題および決定・報告事項：
 1. 記念サイトの全体像（CMS 活用、投稿コーナー等）が共有された。
 2. 資金調達に関して、複数団体（ARDC 等）への申請方針が報告された。
 3. 記念運用における公募局やイベント局の課題を整理し、関係者で再協議することとした。

(10) 第11回ミーティング

- ・ 日時： 令和7年9月24日 20時～22時
- ・ 出席： WG委員8名
- ・ 議題および決定・報告事項：
 1. 記念誌の編集会議予定と、ARDC 申請に向けた CEO との情報交換等が報告された。
 2. 記念運用公募局の公募要項と選考プロセス（分科会で選定し地方本部長の同意を得る）が確認された。
 3. 新たなデジタルコンテストの実施意向（JARTS の RTTY コンテスト移管）などが協議された。
 4. 来年度予算の作成と広報戦略、ハムフェア連携の検討課題が共有された。

(11) 第12回ミーティング

- ・ 日時： 令和7年10月23日 20時～22時

- 出席：WG 委員 8 名
- 議題および決定・報告事項：
 1. 記念サイト（1 月 1 日オープン予定）の進捗と年表コンテンツ案が報告された。
 2. JARD とのニューカマーQSO パーティ共催に関する協議状況が報告された。
 3. 来年度予算の全体感の共有と、ハムフェア実行委員会でのテーマ設定について審議された。

（1 2） 第 13 回ミーティング

- 日時：令和 7 年 11 月 19 日 20 時～22 時
- 出席：WG 委員 8 名
- 議題および決定・報告事項：
 1. SD 会議にて、JARD との QSO パーティ共催や JAIA の機材供与・寄付などの協力体制が確認された。
 2. コンテスト各規約案の進捗と、ARDC 助成金申請の進捗が報告された。
 3. 記念サイトのオープン前倒し（12 月 29 日）と、ハムフェア 2026 のテーマ案（「JARL 創立 100 周年～」）決定が報告された。

（1 3） 第 14 回ミーティング

- 日時：令和 7 年 12 月 22 日 20 時～22 時
- 出席：WG 委員 8 名
- 議題および決定・報告事項：
 1. 地方本部長・支部長連絡会議での記念運用の説明と質疑内容が報告された。
 2. ARDC への 2 月申請に向けた活動と、コンテスト関連規約を 2 月理事会で承認を得る方針が確認された。
 3. 記念サイトへの「投稿コーナー」設置と、その活用方法について審議された。

（1 4） 第 15 回ミーティング

- 日時：令和 8 年 1 月 28 日 20 時～22 時
- 出席：WG 委員 7 名（佐藤委員欠席）
- 議題および決定・報告事項：
 1. 2 月理事会への 100 周年事業予算、コンテスト規約等の付議事項が確認された。
 2. 記念運用公募局の応募状況（空白県への働きかけ）と免許申請に向けた調整が報告された。
 3. ハムフェアでの企画（年表企画等）と、6 月 12 日の JARL 創立 100 周年記念イベント（全国一斉オンエア等）の企画案が審議された。

（1 5） 第 16 回ミーティング

- 日時：令和 8 年 2 月 16 日 20 時～22 時

- 出席：WG 委員 7 名（大塚委員欠席）
- 議題および決定・報告事項：
 1. 2 月理事会への付議事項（R8 年度予算、各種コンテスト規約、アワード規程）の最終確認が行われた。
 2. ARDC への助成金申請完了（2 月 7 日）が報告された。
 3. 記念アワード規程における市・区・郡等の考え方について議論され、コンテストおよびアワードの発表を 2 月 27 日に JARD と共同で行うことが決定された。

（16）第 17 回ミーティング

- 日時：令和 8 年 3 月 17 日 20 時～22 時
- 出席：WG 委員 8 名
- 議題および決定・報告事項：
 1. 2 月理事会における R8 年度予算、コンテスト規程・規約、アワード規程の承認が報告された。
 2. 記念アワードの市・区・郡・都道府県賞を「国内局との交信に限る」旨の規約追記が承認された。
 3. 記念運用の公募局に対する免許申請手続きの確認、および記念サイトへの投稿コーナー開設等の広報展開が報告された。

以 上

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
会 長 森田 耕司 殿

2027 年国際園芸博覧会記念局実行委員会・令和 7 年度委員会報告

2027 年国際園芸博覧会記念局実行委員会
委員長 森野 富士彦

令和 7 年度の 2027 年国際園芸博覧会記念局実行委員会の開催はありませんでしたが、これまでの活動をご報告いたします。

2027 年国際園芸博覧会は、国際園芸協会（A I P H）の承認および博覧会国際事務局（B I E）の認定を受けて、令和 9 年 3 月 19 日から令和 9 年 9 月 26 日まで神奈川県横浜市を会場として開催される最上位の A 1 クラスの国際博覧会（大阪・関西万博と同等）であることから、一般社団法人日本アマチュア無線連盟（JARL）では、関東地方本部役員ほかアマチュア無線家がボランティアで特別なアマチュア局（特別記念局）の運用・体験運用のサポートを行うために 2027 年国際園芸博覧会記念局実行委員会を構成しました。

同実行委員会では、2027 年国際園芸博覧会の主催者である公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会と同博覧会を記念する特別記念局を設置し、来場者の体験運用を含め積極的に運用するための準備を進めており、特別記念局の開設に向けた具体的な調整を行っています。

以上